

## 第5回幹事会【議事録】

○日 時：平成29年9月20日（水）19：00～21：30

○場 所：江東区文化センター 6階 第5会議室

○出席者数：19名

### 議 事

#### 1. 開会あいさつ

発言者	要旨
①	<p>今日もお集まり頂きまして、ありがとうございます。一応今日が2回目の意見交換会に向けて最後の幹事会ということになっています。できれば今日でおしまいには思っておりますが、場合によってはまた会議の最後にご相談させて頂きたいと思っております。本日はよろしくお願い致します。</p> <p>今日は河川公園課長が見えているので、最後にご挨拶を頂きたいと思っております。よろしくお願い致します。</p>

#### 2. 全体討議

発言者	要旨
④	<p>では早速、始めましょう。この期間で色んな準備や意見を寄せて頂きました。どこからか報告を始めたいと思いますが、子ども家庭支援センターの方からでよろしいですか。⑧さんの後ろに貼っているもの、これは、子ども家庭支援センターというところに訪ねて行って、子どもの声を戴いております。1週間位でこれだけ寄せて戴いた状況ですが、どうしてこれが始まったか、ご欠席の人もいたので簡単をお願いします。</p>
⑥	<p>⑩さんと一緒に説明したいと思います。きっかけをお願いしてよろしいですか。</p>
⑩	<p>第1回意見交換会の参加者が高齢の方が多かったということで、若い人の声、あるいは子どもの声がまったく吸い上げられていないということで、南砂の子ども家庭支援センターにお願いして、20～30代のお母さん・お父さんと子どもたちの声が拾えるのではないかと、思ってセンター長にお願いに行った次第です。1週間ほど掲示させて頂いて、私もちょっと読んでいないですけれども、このぐらいの声が集まったという経緯です。</p>
⑥	<p>先週の水曜日、13日から今日20日まで1週間貼らせて頂いて、40～50の意見が集まりました。ここのセンターは0～3歳児までのお子さんを持ったお母さんがいらっしゃるということで、この黄色い付箋は「子どもの意見」ということなのですが、当然0～3歳の子は書けないので、代弁したお母さんが書いた意見だと思います。なので大部分は大人の意見、お母さんの意見です。</p> <p>後ほど皆さんに一回ご覧になって頂きたいんですけども、「公園の課題」というのと「公園の魅力」「将来への思い」と、第1回目の意見交換会の構成とまったく同じです。具体的には、課題というのは「歩道がガタガタ」や「タバコを吸っている人がいてゴミ袋を放置したまま」「水場に清潔感がない」「自転車のスピードが出し過ぎ」「道路がデコボコ」など課題は5つぐらいで、魅力や将来への思いがかなり多かったですね。魅力はやはり「桜」がかなり多いところですね。後は当然木が多くて、「日差しの強いときでもピクニックを楽し</p>

	<p>んでいます」や、結構面白かったのは、ミニストップの近くのトイレの南側と具体的に書いてあるんですけども、これは舗装のところじゃないんですけども、「樹木の根っこがたくさん伸びていてデコボコしているのが良い」という意見で、「整備された公園の規則的な段差ばかりなので江東区ではこういったところは貴重な場所です。改修した後もこういう場所があってほしい」という面白い意見がありました。「セミ採りが楽しい」とは子どもの声ですね。仙台堀のどこが好きかと聞いて「全部」と答える子どももいます。将来への思いについては、かなり色々和多岐に渡ってしまして、「遊具がほしい」「虫対策」「水遊びができる場所にしてもらいたい」などなど色々和多いというか、かなりの思いがあり、「ドッグランを作してほしい」「トイレを整備してほしい」「船の遊具があるけれど古い」「じゃぶじゃぶ池はおむつの幼児を連れて行けないので、ワンダフル広場に連れて行ったけれど臭くて入れなかった。もっと良くして下さい」とこれが将来の思いで、こういうような意見をたくさん頂きました。意見交換会①の補完としては良い素材になるのかな、という風に思います。個人の感想になりますが。</p> <p>これだけ集まったんですけども、センター長には「もっと貼っていても良い」と言っていると思いますので、もしよろしければ続けて貼って、例えば第2回意見交換会まで貼っておいても良いと思うんですけども。皆さんの意見が聞きたいです。</p>
④	<p>意見はありますか。</p> <p>貼り続けることに反対の人がいなければ、継続して頂いたら良いと思うんですが。</p>
⑦	<p>提言書をまとめる段階においては、何もいま切ってやめることはないですよ。</p>
⑥	<p>スペースが少なくなってきているので、もう1枚かな、という部分はあるんですけども。</p>
④	<p>「貼っていきましょう」ということと、「貼って頂いたものは提言書に反映させましょう」という意味で、いまご発言頂いたと思います。</p>
⑦	<p>反映というか、参考にはなるだろうなと思います。</p>
④	<p>今、提言書の話が出ました。提言書は根拠と隣り合わせでないと、私たちもフィクションで書いちゃいけないですよ。そういう意味ではこういうデータが大変重要だと。もう一つは、公園が区民のためのものであるならば幅広い区民からの声を集めるという、このことを怠ってはいけません。そういう成果が上がってきたと思います。ただ子どもが3歳までなんです。</p>
⑩	<p>ご兄弟がいるご家庭もあるので、もっと大きい子、あるいは小学生のお子さんがいらっしゃるというお母さん、ご家庭も当然あります。長く貼っていれば貼っているほど、幼稚園に通っていらっしゃる方とかが遊びに来るので、もう少し幅広い年齢の子どもがいるお母さんが…。</p>
④	<p>更に意識を持って小学校、中学校に声を聞いてみるという取り組み、⑨さん、どうでしょうか。前にちょっと話しましたが。</p>
⑨	<p>今、全然余裕がなくて動けないです。</p>
④	<p>分かりました。誰かそういうような取り組みをすることにご助力頂けたり、また行政のほうでも、学童、生徒の声を戴ける工夫を継続して…。</p>
①	<p>はい。検討はします。やるとしたら六砂小かな、というところで、1学年だけになるかもしれないですが。</p>
④	<p>では具体的に、またよろしくお願いします。</p>

	意見を集めるというので、⑬さん。50代の人と30代の人が回答している状況でスタートしましたアンケート。いまはどんな様子になっているんですか。
⑬	「私がアイデアを出しました」までで、そのあと話は進んでいないですけども。オンラインのアンケートの件ですよね。インターネットでアンケートをやりましたよ、という話だと思うんですけども、アンケートを実際に作る作業自体は5～10分で作れてしまうものです。設問の項目とどうやって拾い上げるかという部分について、少しアイデアというかご相談させてもらえれば実現はできるかな、と思います。
④	それって見られますか。
⑬	見られます。
④	後でいいんですが、⑯さんと⑰さんには見ておいて頂ければと思います。あとの皆さんはネットで見ようと思えば見れるはずなので、一度覗いて頂いて。その方法でやることは積極的にやったらよろしいかと思うんですが、設問はまだ変えることはできるんですか。
⑬	全然いくらでも。あれは私がつめしに作ったというレベルなので。
④	試しに50代の方が1人引っかけたんですね。
⑬	そうです。私がメールを送った方しか見ていないはずなので。
④	問題を揃えて同じ様にとすることが可能であれば、それは大変すばらしいことだと思います。
⑬	自由記述だけで良いのか、プラス、アンケートだともう少しチェックボックスが付けやすい設問であれば取ってみるのもありかな、というところですね。
④	この取り組みを継続して、行政のほうとやり取りをしながら継続して展開していくということで、皆さんご了解頂けますか。 ⑰さん、⑯さんも是非見ていって下さい。ネット上で情報を収集できるということで、⑬さんのアイデアで構築されつつあります。是非とも展開するようご協力下さい。成果が上がればそれを共有していけるように工夫していきましょう。 情報の収集ということでのお話で、他にございますか。大丈夫ですか。 では資料の提供ということで、テーブルの上に大きい資料があります。この話についてご説明頂いてよろしいでしょうか。
⑳	整備に関して、一方通行化の話が出ています。 赤色のラインが、江東区が管理している区道です。緑が都道になります。太いピンク色は、緑色の中の数字が書いてあるものというのは、基本的には道路という位置付けではないんですけども、区有通路という区が管理しているものになります。東側の地域一帯の道路網が、一目で分かるかと思って持ってきました。 別の3枚ある資料で、これの一番上にあるものは仙台堀川の東の道路、先ほどと同じ道路の拡大ですね。ちょっと色が違うんですけども、黄色が先ほどの資料の赤の、江東区の区道で、水色が先ほど言った区有通路。緑色が同じく都道です。一応道路網としてどういう種類があるか、一方通行がどういう風になっているか、あったほうが分かりやすいということで、一方通行の資料にさせてもらったと部分です。2・3枚目以降は、私が試しにどうなるかと思ってやってみたんですけども、西側・東側が一方通行になったときどういう感じになるかというものです。×が付いているものは例えば事故か何かで、通行止めになったときに車が入って行けなくなってしまう箇所です。

	あくまで私が試しにやったものですので、資料としては1枚目の資料を見て頂ければと思います。
⑫	一方通行で入れないということですか。
①	ここで例えば事故があつて通行止めになったときに、他のルートがあるかということです。
⑳	何も無いところで考えると色々分からないことがあると思ったので、簡単な資料を作らせて頂きました。
⑫	事故があつたときは、警察官が出て対面通行にはならないですか。
①	直ぐにはならないですね。
⑳	例えば「そこで事故が起こって車が通れなくなっちゃったら」を想定したらどうなるか、をやってみたらどうか。
⑧	道が塞がったらどうなるか、ということか。
⑦	事故処理している間ということか。
⑳	例えば事故だったりですが、その他にインフラの工事が入って通行止めになったときは、そこへ行くには迂回路がない。
⑫	この通りは全くその通りだよ。どう考えたって全部止まってしまう。
④	2つ話題があるんですか。道路というものが他にないという話と、その前の道路が双方向か一方通行かによって何か状況が違うかという、2つの話題がいまこの図面から分かりました。
⑳	話題と言われるとちょっと分からないですけれども。
⑫	これはどちらか片方が、という表現になっているよね。全部じゃないよね、見ると。これは全部通行止めになったら、という想定じゃないから…。
①	例え話ですけれども、こういう向きでここが事故になるとここが通行止めになってこの先に行くことがないですよ。
⑫	そういうときはこうUターンする…。
④	2・3枚目はやってみたという話ですけれども、1枚目の図面になるとこれだけで道路密度というものが、この仙台堀川周辺は道路密度が高くないということが事実としてあるということですね。
⑳	それは言えます。なのでそれが分かりやすいかと思って、はじめに出した資料も一緒に。
①	その他に区画整理をやっているようなところというのは、このようになっています。亀戸で言えば区画整理をやっていないこの辺とかは道路網がないですが、区画整理をやっているところはこういう風に道路がしっかりしています。
⑬	これは今日の会議に必要な情報なんですか。
④	一方通行について、という話や道路については出てきます。
⑬	かなり局所的な話をしている気がするんですけれども。
④	そうでもない。全体のなかではすごく多かった。
⑬	大事な論点に関わる資料ということですか。
④	今日はこれ以上議論してもしょうがないけれども。
⑬	そういう資料が出てきました、というところの説明ですね。
④	これもなかったからね、これまで。

⑬	これが「意見交換会でこういうものも見せられればいいですよ」という話。
①	一方通行の話題というところではこういう説明ができる…。
④	これは事実だから出して大丈夫ですよ。 ありがとうございました。今日はこういう状況だ、という理解の認識の話でした。 道路課からの資料提供はこのくらいですか。
⑳	今後の資料の一部として持ってきています。
④	だいぶ揃ってきているので、それは開示されますか。
⑧	地図名称は何と言うのですか。
⑳	ホームページにもありますが、ホームページで出てくる名称とちょっと違います。
⑧	現在の4種3級道路、4級道路という区分けでわかりますか。
⑳	それでは分からない。
⑧	分からないですか。それを調べるにはどうすればいいですか。 現状の道路の位置付けというか、何種何級道路なのか。
⑳	そういった資料があるかどうか存じ上げていないので、確認してみます。
④	ありがとうございました。では河川公園課からの資料提供は何かございますか。
⑥	河川公園課からは資料の収集を引き続きしておりますが、当然全部揃えるつもりではいるんですが、ちょっとお願いがあります。例えば今日用意をしていたんですけども、区議会の先生方が発言した内容を揃えようとか、そういったものがあって時間が掛かったりするんですね。ちょっとお願いがあるのが、「これだけは揃えなきゃいけない」というものをまず幹事会の皆さんで、例えばメーリングリストで私のほうから投げさせて頂くので、皆さん各々に言って頂きたいんですけども、「これは譲れないだろう」というものを逆に教えて頂きたい。探すのに時間がすごく掛かって上からやっていっているんですけども、どうしても埋まらない部分と埋めるにしても時間が掛かって、「私1人ではちょっと」という部分があってアイデアを頂きたいというのがあります。なので私の方で「これだけ集まりました」というエクセルのシートを明日にでも送らせて頂きますので、「ここだけは譲れない」というものを、リアクションを頂きたいと思います。
④	基本的にはその資料リストを作った段階で、全部集めるという姿勢は堅持して頂いていて、「火急に要する」というところを提示すればよろしいということですか。
⑥	意見交換会でも当然、収集資料は根拠ということで、整備計画の根拠であったり会話の根拠であったりというのに大事なファクターであるので、全部集めるつもりはあるんですけども、それでもやはり優先順位は当然あると思いますので、皆さんのお知恵を拝借したいということです。
④	その件についてなんですが、前回皆さんにお配りしているこの資料がありました。この資料において1104が入っているわけなんですけれども、1104全部が質問じゃないんです。その中でも聞いていらっしゃることが出てあるんです。それに対する答えは、次回は答えたいですよ。というか話題にしたい。それは私が書いておきました。 「交通量は現地より多いところはないのか」「交通量は拡幅が必要な量であるのか」「自転車路の設置根拠は東京都に依るものか」「自転車の事事例を知りたい」「公園と道路との高低差はどれほどか」等とここに書いてございます。それらは質問が来ているのに放置しているままなので、これは意見交換会②では何かしら話題にできるような証拠を知りたい。

	<p>これはいまお願いします。</p> <p>また同じ様にそういう感覚で「これは早く出してくれなきゃダメだ」というものがあれば、とにかく急ぐということにおいては、情報発信はメールですて頂くということをお願い致します。</p> <p>今度意見交換会②を開催するわけですけれども、それに関わる情報の発信、これについて話を⑤さんにして頂いて良いですか。</p>
⑤	<p>資料3をご覧ください。A4、2枚ものの資料になります。</p> <p>第1回意見交換会の時は、区報にお知らせを載せていたのと、町会さんにチラシをお配りしました。それからチラシを引き延ばしたものを園内掲示に載せて頂いた、という状況になっています。今回はもう少し工夫をしたいと思っているのと、前回やった周知は引き続きやりたいと思っています。現在の周知状況ですが、区報については、今月の頭に原稿は皆さんに意見を頂きながら私の方で編集し、明日(9/21)の区報に掲載される予定となっております。これは完了しております。園内掲示については前回と同様に、チラシを引き延ばしたものをまた河川公園課さんの方で貼って頂きたいと思いますので、その段取りで進めていければいいと思います。チラシについては2枚目に素案を載せていますが、本日の幹事会で意見交換会をどの様に進めるかというところが大体決まってくるかと思っていますので、それを反映した内容でブラッシュアップして配れるようにしたいと思っています。前回は河川公園課さんの方で町会にお配り頂いたんですけども、他にどこか配れるところはないのか。例えば支援センターに置けたりしないのかなどといったアイデアを集めたいと思っています。それ以外に、例えばその他の周知方法でチラシ以外にどんなことがあるのかというのも、少し検討してみたいと思っています。⑬さんから「アンケートをWEBで集めたらどうか」というご意見があったと思うんですけども、こういったインターネット等を使って情報を周知する方法がないかも検討していきたいと思っています。</p> <p>チラシの中身、それから配布先の検討、その他の周知方法というところを、これから進めていきたいと思っています。ここでやり方の提案なんですけど、前回は私の方でチラシを作ったり区報原稿を作ったりして河川公園課さんに配布をお願いしたりというような体制を取っていたんですけど、意見交換会のときに「司会チーム」として区民と区とコンサルタントでチームを作って上手くいったと思ったので、「広報チーム」を作ってできたらいいという風に考えています。10/7が意見交換会なので、その10日くらい前の9/27くらいには、チラシとその他の周知の仕方を決めて配布・周知できるような形でスケジュールを組んでやっていけたらいいと思っています。こういうところまでご提案ですが、まず協働チームみたいところで広報をやりたいと思うんですけど、これに対して何かご意見がある方はいらっしゃいますか。</p>
④	<p>チラシを配るということは皆さん了解ですよ。チラシの内容についてということや記事の内容、配り方の2つだと思っていんですかね。</p>
⑤	<p>そうですね。それを協力しながらやっていきたいなと。</p>
④	<p>どちらの意見でも結構ですが、ご発言を皆さんから頂いて良いですか。</p>
⑨	<p>町会に配っても、うちもそうなんですけど回って来ないんですよ。だから町会には回すように周知しないと回らない。</p>
④	<p>つまりいまのは「町会にお願いしました」「はい、おしまい」だと、回らない人がいるとい</p>

	うことになる。町会の方も一生懸命にやってくれていたんだけど、もうちょっと複線で考えないといけない。
⑫	マンションだと置いてあたりしますけどね。大きな集合住宅なんかは、入口に置かせてもらうとか良いと思うんだけど。近隣の方はちょっと少なかったでしょう。来てほしいんだよね。大きなマンションにはお願いしてドンと置かせてもらって。皆んな、たぶん興味は持っているから良いんじゃないかと思うんだけどね。あるいは公共の場に置くとか。
④	公共で置ける場所はないか、また民間でも引き取ってくれるところはないか、これを探ってみましょうというご提案ですね。
⑯	私のところの隣に七丁目団地という、URの大きいものがあるんです。あそこは町会にも何も入っていないんですよ。ですからインターネットなり、興味のある方はご存知だとは思いますが、こういった周知の仕方では気がついたという人は少ないというか、皆無に等しいのではないかと思います。私のところでは年1回消火訓練をやるんですが、その時に必ずURの管理事務所に行って、同じ建物内にあるんですけども、掲示をさせてもらうんです。非常ベルを鳴らしますので勘違いされても困るんですよ。それを周知させて頂きたいということで、掲示板が3箇所ありますが、それに許可を得て貼ってくるんです。終わったら翌日挨拶をして下げてくる。
⑤	公園の中だけじゃなくて、URの団地もお願いすれば可能性があるんですね。
①	URにも持って行っているよね。前は忘れましたが、前は持って行っていますので、今回はまた。
④	この前は持って行っていないということが、今の発言で明らかになりました。
①	その前の時は持って行ったので、すみません。ただあまり興味を持っていないというのは、管理事務所に行っても感じました。
④	配り方については、これまでの配り方にプラスアルファのアイデアを実現させていくという話でした。記事についてはいかがでしょうか。
⑩	子ども家庭支援センターは置かせて頂けると思うんですけど、ちょっとイラストを入れて頂けると取りやすいので、もうちょっと冒頭だけでも柔らかい感じで「皆さんのご意見を聞かせて」みたいな吹き出しを入れる位でも。それはお願いしたいのと、町会関係は、砂町地域はどうかは分からないんですけども、わたしの住んでいるところは掲示板が町にあって、そこに区民祭りなど区のイベントとかが割と大きいポスター状で貼ってあってすごく目立つので、たぶん砂町にもあるんじゃないかと思うので、大きめに貼らせて頂くといいかと。あれは区の持ち物ですよ。
①	両方あるんですよ。区と町会さんのもの、両方あります。
④	いま言って下さったのは、イラストを入れたらどうかというアイデア、それから置く場所についてのアイデアがありました。もう一つ、記事としてどうでしょうか。これは僕が言っているのかどうかですが、位置付け情報を一番大きくしているけれども、「つまり何をするのか」をこれくらい大きくした方が。
⑤	中身については今日の議論を踏まえて直したい、という発言を先ほどしました。それは皆さん了解頂けますか。
⑦	そうしないと動けないですもんね。
④	そうするとそれに関わってくれる人を、さっき呼びかけていたけど…。

⑤	中身の話は今できないと思うので。私が全部やって、というのでも良いんですが、こういうアイデアを今もたくさん頂いていたので、私だけじゃない方がたくさんアイデアが出ると思うので一緒にやりたいということなんですけれども。
④	ヘルプが出ました。というか、一緒にやりましょうという。⑩さん、いかがですか。
⑩	はい、大丈夫だと思います。
④	⑬さん、いかがですか。
⑬	私はどちらかというよりやりたいです。
④	では男性で誰かいませんか。
⑫	いえ、私は。皆さんみたいにできればやらせてもらいたいです。
④	町内会で早く回したくなるチラシのアイデアはないですか。
⑮	町会では7丁目だけは回しました。この間もらったやつは。4丁目に回しても、なるべく公園に面している方は意識がありますが、ちょっと離れてしまうと行くのに10分くらいかかりますから。 それからこの間私も考えたんですが、あの公園を小さくするから反対が多いんだよね。道路はどうでも良いんですよ。かえって良くしちゃうと坂だから上がってきて。自転車が何で通りづらいかという、あそこは横道から出てくる人がいる。公園の中を走った方が安全だからということで、公園のなかを本当は走っちゃいけないんだけど、そういうのがある。公園のことを聞いていたら、やはり「公園は小さくしたくない」と言う。結局新しくマンションを建てれば今度はバックさせられるから、自然と道路は広がってくる。だからあのままにしておいて、小さくするとお金がかかる。あの堤防を壊すことで…。
④	チラシの話から具体的に…。
⑮	自転車と歩行者を別々に走らせるようにするか、そういうアイデアを聞いてやらないと。皆さんに聞くと「桜の木がほしい」「木を切っちゃダメ」「川で魚釣りができない」「池でザリガニを取りたい」と言うけど、全部水が抜けちゃうわけだよ。
④	分かりました。つまりそういうことを言うことのできる機会が来るよ、というチラシになれば良いということですね。
⑮	仮にアイデアを出して下さいよ、ということです。 私が思うのは、歩行者の横断歩道橋があるでしょう。亀高橋のところ、コンビニのところに。ああいうのを利用して、あそこを自転車のスロープか何かにして釣堀の後ろにずっと通って行って自転車と別にすれば良い。自転車だって人がいなければ走りやすいですよ。あそこの信号機で溜まっちゃうんですよ。
④	⑮さんだけ意見交換会②に入っちゃったみたいですが。こういう様な「意見交換ができるよ」というようなチラシという工夫ですか、いま言ってくれたのは。
⑮	皆さんの意見を。この間みたいに、誰が幹事会だとか、そんな話を今更聞くもんじゃない。それをやっていると時間がなくなって、ちゃんと言いたい人の意見、良い意見が出て来ないんですよ。だから質問するなら「私は●丁目の○○です」とちゃんと言って、質問すればいいんだけど、ただの質問を何だかんだと、あれはちょっと…。
④	今日の後半の話をまた先取りして⑮さんが話していますけれども、後半その話をします。
⑦	確認なんですけど再修正案とあります。このチラシにも、それから資料④の「提言の位置付けと検討のプロセス」にもありますね。再修正案というのは、あくまでも現在の修正案が



	あります。区が作りました。今回第2回意見交換会があります。恐らく幹事会の提言も区に出されるでしょう。そういうものを踏まえて区が作成する案ですね、再修正案と言うものは。そういうことで良いですね。
①	はい。
⑦	そうすると「11月より取り組む修正案の作成に向け」となると、主語が「幹事会が取り組む」となってしまう。それと次の資料④の「提言の位置付けと検討のプロセス」でも、再修正案作成に向けた提案書はこれで良いんですが、その次の行で「意見交換会②では再修正案の取り組み方について主に検討した」とある。要するに僕ら幹事会の役割はあくまでも、これから区を作るであろう再修正案に対して何らかの意見を言う。こういうことですよ。その書き方を明確に分けておいたほうが良いかな、とこういうことです。
④	この記事について主語、立場、スタンス、それからどの様なスポークでいくのか。これを明確にするという記事に検討して頂くと、そういう整理をして頂いたところです。⑮さんと私は意見が同じで、「何をするとところなのか」を明確にするという理解です。それでは従前にお話を、という今日の全体の話というので、さっき打合せを確認していたけど。①さん、これで全部終わったかな。区報は明日出るし、掲示も園内にしてもらえし、URの話も聞いた。
①	今後のスケジュールは後だもんね。はい。
④	では具体的に、この前⑮さんにちょっと怒られちゃったんだけど、今日は何のためにやるの、という話の整理を最初にさせてもらいます。 一つは、意見交換会②が10/7に開催するという想定になっていますので、そこでは果たしてどういう取り組みをしようかということ、これについて今日には目、鼻を付けたい。そしてできることであれば担当を誰にしましょう、まで持ち込みたい。こんな考え方です。さていま⑦さんが、この前グループワークをしたときに、「提言書を作って貰えると良い」という話もグループから、議事録を見ているとありました。 議事録の話をしていませんでした。ちょっと戻します。議事録の話だけお願いします。
⑤	資料の一番最後に参考①、参考②という資料を付けさせて頂いております。①のほうが、第4回(プレ)9/5に行なったものの議事録案、②のほうが前回の9/8、第4回幹事会の議事録案です。これは内容を確認頂いて、何かあれば今週中にご連絡を頂きたいと思います。よろしく申し上げます。
④	これも確認が取ればネットにアップして、意見交換会②を迎えられる方が共有できるという意味では良いと思うんですね。そういう意味でちょっと恐れ入りますが、時間急ぎますけれどお読み頂いて、リターンを下さい。 さて今日はこの議事録にもあります、前回の幹事会の後ろの方の部分で話題となりましたグループワークを致しました。その際に最初のグループだったと思うんですけども、「提言書があると良い」という話がございました。確かに本日、もっと前にできれば良かったんですが、これを皆んなで持ちながら、これを叩いて直してどうしようかとやることができれば良いかと思って、たたき台案くらいの意味で作って参りました。ただこれを作らせてもらうなかで色々整理できたことは確かにございましたので、今日はたたき台案でございまして、この構成について共有し叩いて頂きたい。その話と、ここの空白ページがございまして。フローで申し上げますと、私たちの取り組みは意見交換会を企画・運営する

	わけですが、この取り組みの成果としまして先ほど⑦さんが話題にして頂きました。提言書を作成し、11月以降の取り組みに伝えることを整理する。これが私たちの役割ということにいま共有されていますので、ここの空白部分を充実していくための意見交換会②、これはどういう組み立てをすれば良いのか、という話です。
②①	空白の部分というのは。
④	はい、これは説明させていただきます。そういうフォーカスでこれから話をしたいと思います。提言書案がどういう形が良いのか、という議論を皆さんに頂きたい。またその空白の部分がございます。特にその空白の部分についてを充実していくためには、どのような意見交換会②をしていったら良いのかという議論を皆さんに頂きたい。 この2点を今日のフォーカスと考えております。
①⑦	提言書は確かに成果なんですけれども、これは第2回意見交換会の成果を踏まえて作るものですよね。そうすると第2回意見交換会がどうあるべきかという議論があって、その中身が決まって提言書ができる流れじゃないですか。
④	そういう考え方は確かにありますよね。前回の議事録をお読み頂けると分かると思うんですが、そういう考え方の人もいらっしゃるし、そうじゃない考え方もいらっしゃるんだ、ということで今日これを作ったというだけです。
⑨	それをうまく決めないと。私はゴールが先だと思ったので…。
④	ちょっと待って下さい、どうぞ。
①⑦	僕は提言書を作る、というところまでは良いと思います。骨格について提示するという部分ですが、内容など大事な部分については意見交換会の成果を受けて作るんですよね。そうすると、ここまでできたものを提示されてこれを埋めるものという話になってくるとすぐ議論が、不自然という言い方が変ですけども、手順としてそれでいいのかな、と気になるんですよね。前回の意見交換会があって、色んな方が色んなことを言っているわけです。それを受けて第2回の意見交換会をどうしましょう、という話のほう結論としては先なんじゃないか。それは私の意見です。
⑦	僕はメールで質問しましたがけれども、⑤さん、それからその他の方に。前回時間がなかったんで、Cグループでしたっけ、「提言書を作ったらいいんじゃないか」としたのは、ですよ。僕は質問が2つあります。一つは提言書と言うのは、第2回意見交換会を含めて、それから今回のこの会も含めて、提言書をまとめるまでに集まった情報を踏まえて作るんじゃないんですか、というのが一つ。だから「できるんですか」と。こういうドラフトはできるの、というのが一つ。 もう一つはそもそも今までの幹事会の議論で、次の第2回意見交換会をどういう風に持っていくか、議論が正直あまりできていないと思っているわけですよ。幹事会の議論が深まっていない中で、深化した中で本当に提言書ができるんですか。その点についてどうお考えなのか、ということを今回まずお聞きしたいというのでメールを流したんですね。これが質問なんです、どうなんでしょう。
④	まず前提として伺いたいのは、皆さんは提言書を作ろうとしているんでしょう。
⑦	している。
④	しているならば、作れるような手筈はどうしたら良いのか、という議論をするのが大切で

	すよね。
①	私も今日これを、皆さんが見る1時間くらい前に見せて頂いて。中身として、実際としては特に前半部分は今までのまとめなんですね。先ほどの④さんが言っている後半部分の、空白の部分というのはまさしくこれからやるところであって、今回で言えば構成案で本当のたたき台、たたき台にまでいかないぐらいの、アウトプットのイメージとしてはこういうものができますよ、と。そういうイメージであれば今日の話としては良いのではないか、という話をしました。今日これの話を進めていってしまうと意見交換会の話ができなくなってしまうと思っているので、私としては「こういうアウトプットができますよ」という認識のもとで捉えて頂ければ良いのかな、と思っている次第です。
⑪	私にも意見を言わせて頂きたい。 電線地中化を2ページにわたってかなり細かく書いてあって、一番最後に「修正案では埋設式を採用した」と書いてある。これは私の意見は何ひとつ聞いていない、聞けないということを行っている。この図で説明を聞かせて欲しいんだけど、ここが一番最後に図が描いてあるんだけど、ここに『想定浸水高』となっていて電柱はこれに潜ってしまうよ、と。『①高置式』『②埋設式』『③地面置き』となっていて、一番良いのが②ということで検討した結果、修正案はこれを採用するとなっているんだけど、こんなことはまったく区のでたらめだから。これを何でこういうところに出してくるのか。要するに、こういう方式は絶対やめるべきだとしか僕は考えていないので。
④	という意見があるでしょう。だからその意見が今度交換されるというステージがいまやっとなってきたわけですね。修正案の時には仰るとおり、地下埋設にするという内容だったじゃないですか。そのことを書いているだけですよ。
⑦	すみません、時間が。次の第2回目の準備のためだから。僕は提案ですけれども、提言書の内容をどうするかということについて、今回この幹事会で議論しなくても良いと思うんですよ。提言書を作るというのは分かっているわけだから。まさにこれは希少な一つの案だと思うんですが、それを今日この幹事会で議論しないほうが僕は良いと思う。今まさに⑪さんが言われたような意見もあるだろうし、たくさんありますよ。僕自身もあるから。恐らくこれで終わっちゃう。それよりも第2回の、次の10/7の意見交換会に向けた議論に集中すべきだと思います。でないといかないでしょう。いまこの状態で、提言書の話をして…。
④	まず整理させて下さい。いくつか意見を頂きました。⑪さんが言って下さったのは、「意見交換会②というものの成果を踏まえて提言書の構成がされるべきである」というご指摘ですよね。⑦さんがお話頂いた意見、同じですね。そしていま状況とすると議事録をちょっと見ていたんだけど、前回皆さんに、僕と準備会ではどんなお手伝いをした方が良いでしょうかと伺った際に、その際なのか前後はちょっと分からなかったんだけど、皆さんの作る意志として、「こういう何がしかを作るんだ」という意思はこの前も確認されていたので、「その議論をするのであれば何かしらのたたき台があるといいんだけど」というお話を受けたので、私はこれを作ってきました。 この報告というか、これと意見交換会②並びに修正案という関係もよく考えて作っているつもりです。1回聞いてもらえませんか。これは言われたから作ってきたんです。どんな考えで作ったのかという説明も含めていま申し上げるので、聞いて頂くことができれば

	ありがたいんだけど。
⑧	<p>前回出ていないのですが、その前に僕の意見は放り込んだと思います。それは第2回意見交換会に、我々が第2回意見交換会の後に提言をするという方向はある程度決まっている。だから今までの幹事会の議論の中で、ある程度住民の意見は出尽くしたという考え方があって、我々は現在の整備案に関して評価する力量があるかどうかということちょっと置いておいて、ある程度評価した上で、幹事会としての提言という形を意見交換会の中で諮ってはどうか、と僕は提案しました。最終的な意見交換会後の提言ということよりも、今までの幹事会のここの段階の提言も、この段階にあるコンテンツだとかまとめ、整備案の評価だとかを含めて、こういう提言をしたいという一つのステップをそこで提示していかないと、多分この間の意見交換会よりも一段階先の議論を幹事会の中でやっていった姿を見せて、そこで意見を提言書に対して、提言案に対してもらうという意見交換会にしてはどうかという、僕はそういった意見を出しました。</p> <p>なので⑩さんと⑦さんとは若干違う有りようですね。だから意見交換会に対して提言書を出すというか、ある程度意見交換会に出すための提言書の、途中段階かもしれないけれどそれを出す。それに対して意見をもらおうという形にしていかないと、多分この間と同じような荒れた状況はあまり好ましくないんですけれども。そういった一段階進んだという姿を見せていくということが大事な、と思っています。</p>
④	<p>一段階進めるということ。並びに、提言書ということに対するイメージ。これの共通解が、像を皆んなで共有できていないというところが今の話だと思います。であるがゆえに、どなたかが「提言書のたたき台があるといいんだけどな」と言って下さったんだと思っています。</p>
⑨	<p>それが私で、ここで言ったことです。それを出さないと分からない、ということですね。それなのでゴールがあって、さっき⑩さんも言っていますけれど、これはあくまでもたたき台中に資料を放り込んだだけで、文言は別としてこんなようなイメージのものができるということで、これをもうちょっと整理をして大まかなところ、道路構造はどうしてこうなって、幹事会ではこういう意見を提言しようと思うけどいかがですかというのを、意見交換会で提案する。それについて意見をもらう。そこまでやらないと、私は何もなくてここで意見をもらっても、この提言書をまとめきれないと思っているので。次の第2回で新たな意見とかを聞いてしまうと、意見交換会に出た人の意見を汲んでここに落とし込むのは苦しい。なので「こういうものを出します。いかがですか」と聞くのが、意見交換会だと思っています。</p>
④	<p>この前のグループワークで「第2回の時に、どんなことをやろうか」「提言書を出すのはやろう」など、いくつかベクトルの向きは決まったんだけどベクトルの長さ・太さまでは共有できていなかった。であるがゆえに何かたたき台が欲しかった、というのがこの前の終わり方だったと思いました。作る人間とすれば意見交換会があり、来月の末にはそれを提言書として、私たちの総意としてまとめあげていく、という意味を持つという何がしかである。そういう認識のもとで今日はたたき台を持ってきましたので、「これはこんなような構成にしてあるんだけど」という報告をさせてもらって、それで違うということであれば、また皆さんが直して頂ければ良いんじゃないでしょうか。</p>
⑫	これは今までの1000を超える意見と、第1回意見交換会の意見を落とし込んでいっているわけで

	<p>しょう。それで良いじゃないですか。それを「第2回意見交換会のときにまとめたものがこれです。今日意見頂いたものはまた落とし込んで、最終的に提言書として出します」という形に持っていけないですか。</p>
④	<p>そんな認識で、構成しています。</p>
⑫	<p>これには問題はあまりないじゃないですか。やっていることは間違いじゃなくて、中の中のは落とし込んでいるわけでしょう。これで良いじゃないか、拾い上げなくても。こう思うんだけど、何か問題あるのかな。</p>
④	<p>短く話しますので、意図だけ。意図違いであれば皆さんが直せば良い。そういう進め方をしましょう。</p> <p>まず表紙です。これは提言書ということで書いていますね。めくって頂きますと『はじめに』ということですが、ここのところで書かなくちゃいけないと考えておりますのは、「事業の経緯」「意見交換会と幹事会は何なのか」「提言書は何なのか」を簡潔に書かなくちゃいけない。</p> <p>次のところ、『提言の位置付けと検討のプロセス』と書いています。字が重なってすみません。これは裏のページにフローが書いています。これはメールでお送りしてございます。</p> <p>⑮さんと⑯さんは届いていますか、この絵面が。郵便で届いていますか、郵便というか…。</p>
⑯	<p>頂きました。</p>
④	<p>実はこれが、この提言書の目次の部分でございます。これを見て頂きますと、まず「いま」というところを今やっていますわけですが、最初のフローがあります。紫から始まって赤、グレーに至るまで、これが説明会のところまでのフローでした。これを改めて今回、横に抜いているところの紫がありますが、ここで『区が事業再考』というところがありまして、そこから矢印が下に向かっていきます。提言書の作成のところへ向かっています。そのときに『2. 現況評価』『3. 事業判断』『4. 計画判断』と、この順番で提言書を組み立ててみました。</p> <p>提言書を作成するに際して、いま⑫さんが言ってくれましたけれども根拠ですね。根拠は「思いついちゃった」ということを書くのは不適切ですので、これまで区民の皆さんから頂いたものを根拠として『2. 現況評価』というものを書くべきであると。『2. 現況評価(再)』と書いていますが、その右側に『現況の魅力と課題』『将来への想い』、これを意見交換会①でも集めました。2回の機会ですと1104と、意見交換会①で集めた『魅力と課題』『将来への想い』というものを要約する作業をしたにすぎません。またこれをやったことによって論題というものが増強されて、論題がこの事業には123あるということも整理されています。これも中に入れ込みました。</p> <p>次に『3. 事業判断』、ここには3つの事業があると。まず公園の改修事業、道路整備事業、電柱の整備事業。⑪さんがだいたい電線のことを言ってくさっています。この事業はその3つの事業の中組み合わせである。</p> <p>『4 計画判断』のピンク色のところ、ここには修正案がまずあるわけですね。修正案は説明会のときに使われたあの案があるわけですが、その案に対して区民の皆さんはどんな意見を寄せられているのか。これを俯瞰してこの計画図を検討していくなれば、区民の皆さんのこういう要望に応えるプロセスを経ていかなければいけないじゃないか、ということの要約したものが入れてあります。下のところにA、B、Cとございます。『A. 大切に</p>

	<p>していきたいこと』『B. 想定する機能』『C. 取り組み方』、これにつきましては誰かが再修正案にこれから取り組むわけですけれども、再修正案に取り組むのであれば、「その時に大切にしていきたいことは何か」「実現したい機能は何か」「その取り組み方についてはどこを留意してもらいたいか」を明記しておかないと、ゆるゆるになってしまって私たちの成果が繋がっていかないだろうと、そう心配されました。A、B、Cということが重要なポイントになるであろうということを書いたものです。</p> <p>これからはちょっと急ぎ足でいきます。</p> <p>この最初の『2 現況評価（再）』というところが次のページです。『2. 現況評価（再）』と次のページに書いてございますが、「現況の魅力と課題、そして将来への想い」を要約したものであります。ここで書いていますが、1104 と意見交換会①の 252 を足した情報を要約したものとここに書いています。この資料は既に皆さんにお配りしてある資料です。先ほどもご覧頂きました、この言葉から拾っています。『公園の印象』『園路広場施設』…。</p>
⑦	これは頂いていますよね。
④	<p>そうです。その中から選ばれています。全部載せてしまうと全然分からなくなる。『(1) 現況の魅力』。次のページをご覧ください、ここには『(2) 現況の課題』。その次には『(3) 将来への想い』。これは全部この中から拾っています。</p> <p>次のページをご覧ください。これは『(4) 違う見解が示された話題』があるわけですね。この中で1) から7) までありますが、『7) 交通の在りよう』などについては先ほどの道路課さんからの説明もありました。また自転車の通行についてはだいぶ異論があつたりするという状況が書かれています。</p> <p>さて、その次の『(5) 論題の把握』、これは皆さんの意見をずっと整理していくと色んなものの見方があるわけですね。自然に関わる話題を出す方もいらっしゃるれば、交通に関わる話題を出される方もいる。色んな切り口で話題が出ていました。桜祭りのことやどじょうつかみのことも話題に出ていました。こういったものの見方があると、123 の話題があるということが見出されたことが書いています。</p> <p>ここまでの現況、現在の状況に対して区民の皆さんがこの様なことを仰られている、という事の整理です。</p> <p>次のところ、これは⑩さんから以前、「そもそも、どうしてここでこういうことをやるのか、という話題を整理してくれないか」という話を頂きました。前回もこれで整理したものでした。3つの事業が混ざっているようである、と。その捌き方については、修正案においてはこういう捌き方をしているがゆえに、矢印の下になります、赤い重なりが公園のなかに発生している。これで公園が削られることになって、現在の色んな意見になっている、と。</p> <p>さて右側に参考資料として出しました。黒い①～④は今の重なり方についての選択肢で、これは前回の時もお話しました。下の電線についての話、これについても前回話をしましたが、現況の高さでは想定浸水高になってしまう。修正案では②を採用していたわけです。「これじゃダメじゃないか」というのが⑩さんのご指摘で、別の方法があるんじゃないか。例えば①というのが、今ここでは出ていますね。</p> <p>次のページに参ります。ここからは事業の話ではなくて具体的に計画の話です。計画の話といいますと、再修正案に対しても皆さんがすごく「こうじゃダメでしょう」「こういうこ</p>

とをやらなきゃダメでしょう」ということをたくさん仰られています。それを要約してプランニングをするならば、こういうことを指摘されているならば、書きました様な事柄を検討しなくちゃいけないでしょう、ということを書いたものであります。『(1) 協働推進』では、「1) 行政計画との不整合・整合というものをきちんと整理して下さい」、『(2) 安心安全』では交通計画での、「バリアフリーの観点での車いす等での通行を確保する」とか、いくつか皆さんのご指摘をプランニングで課題とするならばこういう内容でしょう、ということを書きました。

次のページをご覧ください。『(3) みずのあり方』『(4) みどりのあり方』『(5) 施設整備』、その次3ページ目になりますけれども『(6) 公園活用』、活用計画や管理計画、こういう事柄を書いてございます。この根拠は皆さんが寄せて下さった1104で現況以外の情報、また意見交換会①で現況以外の情報を俯瞰して、プランニングの言葉に置き換えています。

さてその次です。『5. 大切にしていきたいこと』、これが明解でないと再修正案は作れません。その次です。『6. 想定する機能』も想定が必要です。『7. 再修正案の取り組み方』も必要などころであります。こういったことについては、今回書き込むことができませんでした。というか、書き込むべきではないと私自身が思いましたので控えております。もちろん「今までの意見を以ってして達観して書け」と言えば書けます。でもこれはやる人が、立場が違うと思っていますし、意見交換会②はこれをまさに皆んなで見つけていくための開催である、という認識で書き控えています。ただ依る術くらいはプランナーとして出してあげたほうが良いだろう、ということでここに書きました。例えばであります『5 大切にしていきたいこと』、これは一般的に整備、開発・保全の方針というような尺度を持ちながらまちづくり等々して参るものでございますので、そのなかの「保全していききたいこと」「整備していききたいこと」というような引き出しくらいはあるかもしれませんという、これもたたき台ですね。

『6. 想定する機能』、これは「場所としての機能」があるでしょう。「システムとしての機能」もあるでしょう。今度、都市公園法が改正されました。『17条の2』というところで組織を作るといふ、協議体ですね。協議会が新しく設定されたりしてマネジメントということが話題になってきています。したがってそれを受けたような形での『(2) 在るべき状況に求められる機能』を入れておきました。

『7. 再修正案の取り組み方』については、まずどういうプロセスで再修正案を取り組んでもらったらいいのか。また(1)と(2)が逆かもしれませんが、『(1) 検討段階における参加の確保』ということも、この前も挙手頂いた話題でありましたのでこんな引き出しがあるかもしれないということで書いていました。

『おわりに』というページがあります。ここについては幹事の皆さんがここまでずっと色々工夫なさって、どんな思いでこの提言書というものに至ったのかということをお書き頂いておくと、「きちんとやってくれるんじゃないか」と思いが伝わるんじゃないかと思って、『おわりに』と自由記述できるページを入れておきました。

別紙というものがあります。ここがずっと別紙11までございますけれども、これについては詳述には申し上げませんが、全てこの提言書には根拠が必要だ、と。私たちは確かに幹事会というものを仰せつかっているんだけど、好き勝手にやって良いわけじゃありません。やはり区民の皆さんの意見がベースであり、そしてそれを合理的に展開するための

	<p>知恵を出しているにすぎません。ですから根拠というものを示す必要があると考えて、別紙というものを作ってあります。</p> <p>さてこれを作るときに、この開けておりました5、6、7というところは特に黄色くしてありましたけれども、こういうところにメッセージがないと再修正案を策定する人に対してメッセージが届いていきません。これはプランニングというステージでやはり必要な作業になると思います。こういうことに入るような議論、これが意見交換会②で達成できれば、皆さんがこれまでやってこられている取り組みが成果に繋がるんじゃないかと考えた、そういうたたき台でした。</p> <p>すみません長くなりました。そういう説明です。</p>
⑦	<p>最後までが提言書の構成ですか。要するに最初に資料④とついているところから、一番最後までが提言書の案、構成案ですか。</p>
④	<p>このホチキスの別紙ですよ。別紙の11まで。</p>
⑦	<p>別紙11までですね。</p>
④	<p>はい、そうです。またご意見を頂いてグループで「あれは聞いたけど」というような話をしてもらえればと思いますが。</p>
⑦	<p>もう一点良いですか。あと1時間くらいしかないでしょう。</p> <p>提言書は事前に読みましたが僕自身の構成と違う。それは今ここでその議論をしてもダメだと思っている。したいんだけど、第2回意見交換会をどうするか。さっき⑮さんが言われた「皆さんが何を期待しているか」ということですよ、意見交換会に。既に⑧さんが出していますよね、提案を。例えば意見交換会②に提示する幹事会案、「第2回意見交換会に下記の3項目を提示することを提案します。道路幅を可能な限り狭めない。現状の問題点を解決する整備案を再設計すること」等という3点があった。例えば公園幅を、⑮さんが言っていたように、公園幅が削られるから問題になっているわけです。それについて僕らは幹事会で議論を全然していないじゃないですか。それをなぜしないのですか。必ず聞かれますよ。提言書を作るというのは一つの案として貴重だと思うんですが、その議論を今日やらないで。そこから入って時間があればどんな提言書が良いかにいけば良いと思うんです。まず公園幅を、今の修正案について削らないでできる方法はないのか、という議論を、皆さんここでまだ1回もしていませんよね。具体的に「どういう風にお考えですか」というね。⑪さんの地中化についてはよく分かりますけれども、その他の方について、何しろここで議論していないじゃないですか。議論していなくて、まず議論すること。要するに区民の人が第2回目意見交換会に関心を持っていることについて、幹事会としての考えを答えられればいいし、「実は幹事会の中でも意見がいくつか別れています」という、そういうプレゼンテーションを、ないし回答をしないといけないんじゃないか、と僕は思うんですよ。それをやるんじゃないの、今日最終だから。</p>
④	<p>逆に質問して良いですか。進行役なんですからけれども、改めて一幹事として伺います。</p> <p>幹事会は意見交換会の企画をし、運営するという役割だと私は理解しています。意見交換会というのは広く開かれて、参加の意思を持った人が参加することのできる場ですよ。だからその場において重要だと思われる話題を議論しやすくするところまでが、私たちが果たす役割だと私は理解しています。</p>
⑪	<p>それはまったくのまやかした。要するに作戦が先に決めてあって、最初はみんなの意見を</p>



	聞くだけ。あとはこっちの意見を言ったきり。そんなようなパターンだ。それは④さんがどういう立場で言っているのか分からないけど、最悪の立場だよ。
⑦	⑩さんの意見と別で、もう一つの役割。これは前回の幹事会で言いましたけれども、企画・運営でしょう。それと同時に論点と選択肢を明示するんですよ。いま論点は何なのか。ご意見は分かりました。まさに整理されたんだけど、そのなかで「何が論点なのか」ということについての整理がされていないんです、今までの幹事会で。要するに区民の方と修正案について、区民の方がどこに疑問を持っているんですか、と。どういう回答を期待しているのかということについての議論をしていないんですよ、ここで。それを仕込まないといけない。
④	これを読んできて頂けているというか、ちょっと端折っちゃったかもしれないんですけど、でもお読み頂けてないと私も思います。どこかと言うと、いま「論点を整理していない」と仰るけれども、まず事業の論点の整理は一つの整理ができたと思うんですね。先ほど見て頂いた、3つの事業が重なっていてその判断の取り方によっては問題がこうなっちゃうんだ、ということですね。これは⑩さんの仰る地下埋設という電線の話もそうです。その次、計画としての判断の取り方というところでの、「質問がこれだけしてあるのに何で行政は答えないんだ」ということに関わる論点があるわけですよ。質問するということは疑問を持っているからするわけですけど、その疑問がここの場所においてどういうやり取りのなかでの疑問なのか、ということも整理した上で情報を出していかないと、これは皆んなの判断として役に立つ情報になっていかない。
⑦	ということはこれにずっと資料の、現況の魅力とか書いていますよね。これは論点整理なんですか。
④	これは読んで頂けていますか。違います、これは現況をただ言っているだけですよね、皆さんが。
⑦	そうするとここについて、例えば「公園と道路を一体で考えるメリットを明確にする」、下のほうで「メリットとデメリットを明示する」とあるでしょう。それについて議論していないじゃないですか、ここで。例えば僕は質問で、前回資料でこれを全部読みました。資料④-1、非常に良い資料を出してくれたと思っているんですけど、ここですでに質問は出ているんですよ。要するに「削らないでできないの」という質問があって、それに対して回答もあるわけですよ。ところがその回答が公の意見交換会①には出ていないんですよ。僕は今回質問したわけですが、相互通行を一方通行にしたとしても、殆ど幅が取れないから相互通行のままです。具体的にどれだけ、殆ど取れない、拡張できないから相互通行だが、その「ほとんど」ってどれだけなのかという数字が欲しい。例えばね。そういう質問をした。これは区民の人が思っていることです。この資料、前回の資料④-1で出ている疑問、それに対する区の答えについて、僕は非常に網羅しているから疑問なところに答えてほしい、と。
④	ちょっといいですか。お言葉だけど、⑦さんが先ほどご主張されたのは「意見交換会②の企画をしなくちゃいけない」というお話をされているでしょう。私もそう思うんです。意見交換会②というのは、参加したいと思った人が皆んな参加できる機会なんですよ。その機会において、皆さん多くの方が疑問に思っていることを話題化する。これを通じて答えを聞いてみたり、それに対して反論をそこでしてみたりという状況をどう作るか、とい

	うことが、いま私たちが企画する立場としてみれば骨を折らなくちゃいけないところだと思うんですね。
⑦	どういうプレゼンを考えているか分かりませんが、要するに修正案がありました。今度は修正案についての意見を言える、ということを期待して来るわけですね。そういう場ですね、今回は。
④	修正案に対しても言えましょうし、ここで名言していますのが「再修正案に向けて作ろうとしている提言書に盛り込んでもらう」ことを言えるという機会でもあるということですね。
⑦	2つありますね。区民の関心は修正案について、まさに公園を削るということについて「削らない方法はないのか」「なぜ削るのか」と、これは一つですね、これは説明しているわけですね。「削らない方法はないのか」と区民は思っている。それに対して回答がきちんとされていないと思うんですね。どういう回答をするのか、まさに幹事会のなかでまずこれをどういう風に考えているのか。まず幹事会で揉んで、それが意見交換会で幹事会のなかの意見を踏まえて区がどういう風に答えるのか。要するにここの場でその部分、なぜ議論をしないのが疑問なんですね、ずっと。
④	関心はありますよ。私もすごく関心はあるけど、その議論を皆んなでできる状況をどう企画するかが私たちの役割でしょう。
⑦	だけど、その質問に対して答えがちゃんとできるんですか、と。そういうことを確認するのも…。
⑩	私の認識は、こっちの公園の幅は削られて欲しくないし道路も安全になってほしいと思っているんですけども、それを大多数の方が「公園を狭くしてほしくない」という意見を持っていることはすごく分かりますし、その答えを区は持っていないんだと思います。「どうしたら良いか」というのを。なのでこういうものを使って「大切にしていきたいこと」とかそういうところから皆さんの議論を引き出して、その結果「やっぱり公園は狭くしない方向でいこう」という方向を導きたいのかな、という風な認識でいます。
⑪	そういう方向ならいいんだけど、逆の方向になっているという風にしかみれない。
⑩	そういう風に貶められるという感じの認識ですか。それはやり方かな、と思うんですけども。
⑧	僕らの役割は意見交換会の後の提言において、いかなる再整備案を作るかということの、できるだけ具体的な条件を付け加えることだと思う。なので今の幹事会において僕らが分かっていることは、⑪さんも言ったように、区が実際に道路の拡幅を通じて、それをもとにして公園整備のプランニングをしたというのがプロセスで作られている。ということがある程度明らかになったというのが、幹事会の中で大きくなりましたよね。だから実際にはそうではない。本来はそうではなくて、「いかに公園を守るか」というような綱引きが整備案を作る段階で本来ならばなされなくてはいけなかったのに、それがなされなかったということに、そういったプロセスで今回の整備案は作られた。だから本来やるべきことを経過しないで作られた整備案に関しては、この幹事会で「その整備案はダメだ」と幹事会で言うべきだと思う。だとすれば新しい、色んな意見が入ってきている意見交換会、その前の1000いくつの意見を踏まえた状態で、いまある公園を縮めるというような整備案に関してはいったん白紙に戻して、現状の区民の方々が入れてきて頂いている新しい意見を再

	整備案に被せていく、ということをやりたい。そういうような意見を幹事会で言っていくべきだと思う。それが新たな再整備案を作るプロセスだと思っています。
④	今の⑧さんの発言の中で、意見交換会というものの位置付けがよく分からないんだけど、聞かせてもらって良いですか。
⑧	彼らが気にしているのは「公園が縮まること」ですよね。そういったことが今回の、我々が幹事会を発足した一つの理由だと思う。一つの整備案を提示して説明会をやってちょっと混乱が生じて、第1回意見交換会でもそんな同じ様なことがあった。我々の意見交換会の話はちょっと別にして、その前の整備案を提示したときも上手くいかなかった。だから幹事会を設けて区民を交えて意見交換会をやしましょう、という形になった。だから現在まの整備案に関して、どうだということを一は幹事会の中で揉んで、その中で次の整備案というのは、この間の意見交換会の前でも出てきた話ですから、そういった整備案がもしできるのであれば、「どういった整備案を作り出すか」ということの意味をここで盛り込んで、できるだけ具体的な条件を付け加えて我々の提言にしていくための、いわゆる条件を提示してそれに対して意見をどうだという風なことをぶつけていく、それが意見交換会の第2回目だという認識をしています。
⑪	とにかく意見交換会じゃないんだよね。極端に言うと。要するに最初から「こうやるんだ」ということのために最初は意見だけ聞いて、後はこっちの意見を言って、はいさようなら。これだけ。6回も7回も幹事会をやって皆んなの意見を聞いた、だから素晴らしいだろうという、そういうストーリーでしかない。これは最悪だよ。
⑬	<p>すごく私も色々悩ましい中で、迫りくる意見交換会をより具体的に考えなきゃいけないと思って一応アイデアを出させて頂いたんですが。前提として提言書の在り方というか、提言書を作るという意気込みは分かるんですが、現実的には「この短い期間で提言書をまとめることが本当に誠実なのか」ということへの不安というか、「そんなにバタバタとまとめたものを提言書として出すことへの不安」と、もともと提言書という言葉への違和感というのは前回からもあったんですが、それはこの幹事会の役割という話をさっきからされていると思うんですけども、私は企画・運営ということにかなり特化したモチベーションでもともと参加していたので、提言書というよりは意見交換会の報告書、集約書というような表現の方が私としてはしっくり来るなという前提で、そのために意見交換会は今回なんでやっているのかというと、要は「区民の意見をより交えた計画にしていきましょう」ということだと思うので、いかに区民の声を計画に反映させるか、区民に計画について考えてもらう機会を設けるかということだと思うので、そのために次の意見交換会でやるべきこと、要はまだやり残していることは何なのか、ということにフォーカスした結果、私なりに3つのテーマを考えました。</p> <p>色々出てきているところとかなり共通していると思うんですけども、一つは修正案に対して未だ、要は今までのプロセスで抜け落ちている部分の補足という意味がグループA、整備計画と書いてありますが修正案に対する不満、疑問、これまでの意見等々に対して答えきれていないところに答えるということがひとつ。後は今までなかったところという意味で言うと、これまで集まった区民の声自体を区民にまだ共有できていないわけですよね。その中に対立しているものがあるところも整理をしていく中で分かってきたので、要はここは区民同士の意見交換かなと私は思っているところなんですけれども、多様な意</p>

	<p>見を持っている区民同士がお互いどうしたらより良い案になるだろうか、ということ、もう少しディスカッションによった部分ですよね。先ほど言えば、「公園を狭めたい」という人はあんまりいないのかもしれないんですけども、「道路に課題を持っている人」と「公園を残したい」という人が議論をしない限りは、双方が行政に対して言っても、この和解というか対話の機会はここでやるべきと思うので、そういうものを。ここが私は今回の本題ではないかと思うんですけど、それがグループB。グループCに関しては、どうしても将来への想いというものは出ていますけど、何となく現状への不満みたいなのところがにじみ出ていてワクワクする話がないので、公園ってその議論が抜け落ちてはいけないと思うので、今回せっかくお子さんの意見も少しずつ出てきているので、そういう、もう少し「公園がこうだったらいいよね」という、公園の未来を明るく考えるグループというのも必要ではないかというところで、それをグループCということで、やり残したところを自分なりに考え、人数の比率的に参加者がどう割り振られるかは分からないですけども、やるべきことはこの3つかな、と思って。そのためには準備として幹事会として、その下作業のことをやったら良いんじゃないかということが私のアイデアでした。</p>
④	<p>今ご指摘頂いたことを途中でメールを頂いて。ずっと私はやり続けていたんですけど、提言書を作ったと言うので作らなきゃいけないかなと、ずっとやっていたんですけど、途中でこれを送って頂いて「ああそうか」と思って、参考にさせてもらっています。特に論点の抽出、これについては先ほど申し上げた、つまりところ次の再修正案を考えるならば、皆さんは一体どういうことをプランナーに言いたいのか、という言葉に置き換えるという作業を、書いて頂いたものをもってやっていたりしました。</p> <p>いま一つ確認をしなくちゃいけないかと思います。私たちは一体何が役割なのか、ということですね。私たちがここに一人ひとりの参加者として、この構成メンバーとして応募された動機はそれぞれお持ちだと思います。そこは大切にしていきたいと思うわけですけども、もう一つ大切にしないといけないのは、こうやって一堂に会して次に何かしらをやろうとしていることだと思うんです。</p> <p>つまらないことを言ってしまうと、行政というのは法律に基づいて判断していく、執行していくということが仕事ですね。それが現場において「ちょっと違うんじゃないか」という状況がございますので、色んな状態を生む。それを見たとき、見知った時にそこでの暮らし手としてちょっと意見を言いたくなる。質問するんだけど心のもった返事が来ない、というイライラ感は確かに私たちの中にあっただというのは1104を見ているとよく分かります。今回改めて仕切り直しをされてこのフローがスタートしたわけですけども、そのときに町会の長がやっていらっしゃる方がいらっしゃる。色んな団体の長をやっていらっしゃる方がいらっしゃる。あまり分かりづらくないと思うんですけども、新しいパブリック、「新しい状況を行政だけに任せるのではなくて一緒に作っていこう」という志を持ちながらこの会を開いているんだと思うんです。先ほど3回も4回も言いましたけれど、意見交換会というのは志の話というか、皆んなが参加できるという機会です。でも幹事会は限られた人たちしか参加できません。ですので幹事会でやれることというのは、意見交換会というときに必要な議論を皆さんがすることができる状況作り、この工夫が最大の工夫なんじゃないでしょうか。</p> <p>したがってそこで正直、⑦さんとは踏み込み方に違いがあることを認識しながら話してい</p>

	<p>ますが、「どこに論点があるんだろう」ということの整理をしたうえで、「この論じる場を意見交換会で設けてあげよう」と。そういうところで止めるというスタンスをいま持っています。やってしまったらこの議論は皆んなで共有できないですよ。</p>
⑪	<p>いま頭に来るのは、電線のところで「採用した」と書いてある。これは絶対書くべきじゃない。要するに「検討します」というならいいけど…。</p>
⑨	<p>この3月に出した修正案では採用している、ということですよ。</p>
⑬	<p>次どうなるか分からないですよ、という。</p>
⑦	<p>それは修正案のことしか言っていないですよ。事実だ。一個人の意見を言うつもりはないんですよ、持っているけれども。ただ意見交換会でたぶん出るよ、と。そういうことについて、しかも行政の答えを期待しているから。それをここで、要するに100%の答え、行政はどういう風に答えてくれるのかを確認して、「それだったら区民は納得しないよ」とか「できないことはできないと言ったほうが良い」と、あくまで意見交換会で皆さんが関心を持っていることについて、今とりあえず僕はいくつかしかないけれども、他にもあると思うんですよ。それを言って答えを聞いて「そこまでしか答えられないんじゃないかな」と、そういうようなことをやって意見交換会に臨んだほうが良いんじゃないですか。必ず出るよ。もし前回と同じ様にきちんと答えなかったら「何をやっているんだ」ということになる。</p>
①	<p>それは前回うちの⑳が答えたことを、パワーポイントでも何でも良いんですが分かりやすく図示して答えていくところを、ブースでやるか全体のときにやるか、というような話をしていきたい。ここではそういうことを説明していく…。</p>
⑦	<p>結論を出すんじゃないですよ。結論を出すわけじゃなくて、意見交換会に質疑応答はあるんだろうから、そこで必ず質問されることについてどういう答えをされるんですか、と。用意されていますか、ということを確認したいんです。そういう場じゃないかな、今日は。</p>
④	<p>同じ様なことを私も申し上げていましたけれども、その時には「こういうぐらいのことを準備しておかないと話にならないよ」、とこの前…。</p>
⑦	<p>そうなんです。むしろ「ちゃんと聞いていますよ」「まとめています」ということで大切なことなんです。ただそれを説明するにはすごく時間が掛かっちゃうから、でも皆さんの関心はその中のいくつかでしかないからね。要するに一番大きな関心は。というのが皆さん幹事の人にも頭があるでしょうから、それについて「回答できますね」「準備できていますか」ないしは「できていないんですね」というのをやったらいいかなと思うんですが、ここでね。</p>
④	<p>申し訳ないですが、それは行政のほうできちんとやってもらえませんか。ここに書いてあることについては⑦さん、やってもらいましょうよ、行政の人に。</p> <p>それとあと重要なことは、⑦さんがいま関心を持たれていることに対して別の意見を持っている区民もいるということですよ。ですからそこも踏まえて行政は大変だけど、両方に対して理解できる情報の提示をして頂くということ、これを今お願いしたいというご発言だったという理解で良いでしょうか。</p> <p>⑧さん、どうぞ。</p>
⑧	<p>この間（第1回）と同じ様なことにならないかな、と心配しながら聞いているんですよ。また同じような意見の聞き方というか、この間ブースで我々も説明するつもりではあった。</p>

	<p>整備案に関してきちんとした回答はできないにしても、それぞれの意見に対して言おうとはしていたけれどできなかった。今回、先ほど①さんが仰っていたけど②さんに喋らせれば良い、と。同じような話が、僕は整備案ができたときに①さんのところと言って何回も何回も色々な質問をしたんだけど、同じ様なことがまた起こるのではないかな、と思っただけです。少なくともこの間と違うような、また同じ繰り返しになりますけど、一歩進んで「整備案をこう変えるんだ」というようなある程度の方向性を示していかないと。幹事会の付加価値が全然ないような気がします。1回目の意見交換会で集めた意見と、2回目の「また言わせるのか」「また質問させるのか」というような状況を決して生んではいけないような気がするので、そこは我々幹事会のなかで何かしらのプラスアルファをくっ付けた状態で掲示するというか、僕の意見としては先ほど言ったように整備案のでき方が、大切な揉むべきプロセスを経ていないというところで、それはダメだという風に思っているので、そこが欠けているからダメなので。そういうような何かしらの、我々の提言というか方向性を示したうえで意見交換会を臨んだほうが良いという風に思います。</p>
④	<p>いま⑧さんが言ってくれた言葉を使わせてもらおうとすれば、以前の修正案はプロセスが良くなかった。良くなかったとして、でもそのときにもう皆さんは発信していたわけですね。そして行政も聞くということをやっていた。集まっていた意見というのが死蔵されていた、全然活性化されていなかったと。今回のこの取り組みにおいて、その時に皆んなが表現して下さった事柄をもう1回起こしていこうという作業を、これまで愚直にやってきました。</p>
⑧	<p>言葉が難しくて受け取れないんですけど。</p>
④	<p>プロセスの話で言っていたので、プロセスがダメだったと言っても、そのプロセスであった宝物が生き返るような作業をこれまで一生懸命やってきました。</p>
⑧	<p>それは区役所のなかで、ということか。</p>
④	<p>違いますよ。1104 だとか意見交換会①だとかいうことで、もう1回皆んなが発言できる機会も作りました。それがどういう内容なのかの整理をいましてきています。</p>
⑧	<p>でもその議論は全然してきていないですよ。</p>
④	<p>議論という言い方は、私たちが果たす役割というのは、皆んなが意見交換できる会を、企画を作るといふのと運営するといふのが役割でしょう。だからその議論をずっとしています。</p>
⑪	<p>それはペテンだよ。</p>
⑧	<p>じゃあ我々は何のために…。</p>
⑪	<p>だって江東区を良くするんだ、というためにやっているんだよ。単なる、それを重要な仕事だから、と言っているだけじゃないか。</p>
⑨	<p>前の意見交換会でも「幹事会、期待しているよ」という野次があったりしたと思うんです。例えばこの道路について、ここで前回やった様な説明を意見交換会でしたとしても、それは前の質問に対しての回答だけで全然進んでいないですね。そこで言ったとしても收拾がつかなくなると思います。それは意見交換会を運営するという立場からは、收拾がつかなくなるような意見交換会にはしたくないのでおかしいと思います。それなので⑧さんのようにいま出た資料、1回目から出た資料をもとにこうなったというのを、私たちはある意味区民の一部の代弁者でもあるので、ここで納得しないものを意見交換会に持って行ったとしてもそこで紛糾するに決まっているので、ここである程度「これだったら通りそうだ</p>

	ね」というものを、私は⑦さんが仰っているのかな、と。代表的なもの、全部細かいものまでやっている余裕はないので、そういったものをここでやって、「幹事会ではこのように聞いてこういうものを提案しようと思っていますけれどもいかがでしょうか」というものを私は一步踏み込んでやるべきだと思うし、一番簡便なのは集まった意見に、前回も言いましたけれども「はじめに」「おわりに」を付けて出すことが一番簡便ですけれども、幹事会としてはやはり集約をして、前回の本来答えるべき意見にさらに幹事会としての見解を踏まえたものを意見交換会に提案して「皆さんどうですか」とやらないと、全然收拾つかなくなっちゃう。
④	ずっと言っているのは、何かプランをやらうとしていますか。何か「もの」と言っている「もの」が良く理解できない。⑦さんの時もそうなんだけど、⑧さんもそうなんだけど、私たちが何かプランをチェックして、何かプランを鍛えて出していくというシステム…。
⑨	例えば、この間説明して頂いた道路の説明では、私は納得していないんですよね。個人かもしれないんですけども、ただここで納得しないものをあそこの場に出して意見が收拾つかなくなるなと私は思うので、そういう意見交換会にはしたくないので、ここで「それは通らない」とか、ある意味そういうものが出ていたとしたら、それについては幹事会としては色んな、もちろん私個人とかじゃなくてこういう意見が出ているので、それを踏まえてこういう提言をします、というのを出さないダメなのかな、と思っています。
⑪	意見交換会じゃないんだよ。要するに意見を聞く気がまったくないんですよ。それを④さんがそういう交通整理ばかりをやっているじゃないか。
④	幹事会の話ですか、意見交換会の話ですか。
⑪	両方ともそうだよ。
⑫	今度の意見交換会のときにこの資料は出るんですか。この修正案。
④	それは修正案ですよ。修正案の資料は皆さんに…。
⑫	これが出るんだったら話が違う。
⑨	これ位は出さないともうどうにもならないですよ。回答にならないから。
⑫	それで私は⑧さんのこれが良いからコピーして持ってきた。この中に書いてある。特にこれに触れてくるから、そうするといっぱい問題が出てくるなと思って今日はその準備で私は来たんですけども、全然触れないんだよね。前回の時もかなりの人が、前回 1000 を超える意見を出して「まだいまさら」という意見もあったんですよ。ですから今までのこのまとめや順序が逆かどうかは色々意見があるところでしょうけれども、この中に落とし込まれているんだよね、全部。事実、全部落とし込んで。これの言葉を変えれば良いわけですよ。折角良くできているんだから、これとこれを見比べていくような意見交換会にしていくのかな、と私は思っていたんですよ。今までの説明会の時もこれが出て、1回・2回のときもパニックというか怒り心頭でバタバタバタとなっちゃったんだよね。それを見たときには「当然だよな」と、悪いけど思ったんですよ。何故かという、皆んなの意見をこの様にまとめて意見が多いです。ではこれとこの実際の修正案と見比べてみましょうよ、と。「どこが問題ですか」というようなことを今日はやるのかなと思っていました。なのに全然そこまでいかないから。この⑧さんのこの中の3つほど、私も非常に気に入っているんだけど、「現状の問題点を解決する整備案」、これがもう逆に言うと案だと思うので、この修正案と見比べて修正していった方が早いんじゃないか。「これは

	<p>良い」「これは悪い」「これは違うじゃないか」と。例えば桜並木なんてこの中に出ているけれども、桜の見る場所だけ、あれも並木になるのかな。皆さんの、区民のイメージとしては、清洲橋から小名木川の突き当たりまで全部が桜並木になると思っているんですよ。こんなものが出て行ったら、そこでもう紛糾ですよ。それは話が違う」ということになっていくような気がする。だからこういったところの整理を今日はするのかと私は思って、先ほどから一生懸命聞いているんだけどなかなか入って行かない。</p>
④	<p>いま⑫さんがご指摘のお話なんですけれども、『4. 計画判断（再整理）』の1行目のところで、そういう認識で書いています。「計画判断（再整理）では、区民の声から修正案の課題を整理した。」したがってその…。</p>
⑫	<p>これは良いんですよ。</p>
④	<p>既存の修正案に対して皆さんは「違うんじゃないか」という意見を申し述べられているわけですね。それに対して明確な、丁寧な答えをしていなかったという過去があるので、これはなかなか感情的な話になっちゃっているという実態はありますよね。</p>
⑫	<p>もう一つ言いたい。先ほど⑧さんですかね、前回出た問題点はきちんと答えていかないと絶対ダメだよ。冒頭でね。それからもう1点、皆さん思い出して下さいよ。「区長を呼んで来い」とか、すごく多かったですよ。彼は皆んなそうなんです。我々よりも後ろを見ているわけですね。だからやはり今回は区の方からも来て説明すると同時に、ある程度の責任者が来て座って頂かないと、また最初から揉めちゃうかな、と。最悪また前回と同じようなことにならない様に我々も気を付けなければいけないんですけども、そのためにはやはりきちんと、前回投げかけられた問題の答えはある程度していかないと、全然話が進まないと思う。また同じ様になってしまう。</p>
⑬	<p>多分いま話しているような話というのは、私の考えているグループAに大部分含まれることであって、要はそれが前回の意見交換会も過去の説明会も踏まえると、圧倒的に参加者としてはその層が多いだらうとは思いますが、例えば前回「私は賛成なんだけど」という人が意見を言えなかったであるとか、もしかしたら子連れの方が来るかもしれないことを考えると、そういう方への対応も考えておかなきゃいけないということが、私なりのBとCなんです。プラスアルファ、Bに関しては先ほどの道路の前の資料に対して「納得がいかない」ということを、たぶん住民の方が同じ様に感じるであろう、であれば、その場でどうしたら良いかというのを私たちだけでなく、より多くの住民で議論する場を意見交換会でやるべきなんじゃないのかというのが、私は意見交換会の意義はそこだと思うので、なのでそれがBだと思っています。Aの準備はすごく大変だしやらなきゃいけないし、区も責任を持ってやらなきゃいけない。体制としてもばっちり、その運営を紛糾しないようにやらなきゃいけない大変さはたぶんグループAが圧倒的にあると思うので、そこでちゃんと説明をする準備をしなければいけないと思うんですけど、「じゃあB、Cはやらなくてもいいんですか」ということは、ちょっとお聞きしたいと思っています。</p>
⑨	<p>もちろん私もこういう楽しい意見のほうが全然良いんです。ただ今回始まったのも、元々整備計画が出て修正案が出てこういうことになったということで、最近の6月の議事録、議会の建設委員会の議事録が出たんですけど、課長が答えているものに「今後も詳細計画に向けあくまでも修正案をもとに幹事会及び意見交換会を行ない」ということなんです。だからあくまでも修正案が生きちゃっているんですよ。だから楽しい話がもともと、スタ</p>



	<p>一ト段階から住民を集めて「こういう公園にしよう、楽しいね」という話で進んでいけば良かったんですけども、そうじゃなくなっちゃって出ちゃって色々紛糾しちゃって、その答えをしていないままにやってきて、前回も意見を集めるだけ。「ゼロから」ということだったんですけど、ゼロにはなっていないんですよ。そういう意味ではきちんと回答をして、「この現在の計画案は、ちょっと問題がありますよ、それは1000いくつの意見とこの間の1回目の意見でこう出ているので、こういうものをもとに計画をもう1回作って下さい」というのをやらなきゃ、それがメインなのかな、と。やはりここでガチガチに言われちゃっているんで、議会で。だからそういう対応がここでは必要なのかな、と思う。</p>
⑦	<p>僕は特にグループCのところは次の段階かな、とと思っているんですよ。要するに意見交換会があるでしょう。再修正案をまた区が作るわけですよ。その時に楽しいお話、色々なものがあるじゃないですか、要望が。それは僕は一緒にやれば一番良いんだけど、今まさに⑨さんが整理したような話だよ。2～3時間くらいしかないところでやるとなったら、現在の修正案に対してどう思っているか、それに対して区はどう考えているのか。できるだけ多くの方が納得できれば良いし、恐らく平行線で分かれるところもあると思うんですよ、区民の方と。それに基づいて修正案をやるんだけど、それは骨幹的なところをやっているわけですよ、修正案についての。細かいことを言っているわけじゃないですよ。そこの大元ができて「どうするんだ」という部分が決まれば、そのベースにお子さんのこととか色んなことを考えて、区民に喜ばれる公園を作っていこうという話にいくと思うんですよ。同時に少なくとも1回しかない意見交換会、1回しか残されていないから、そこであの3つをやるというのは無理かな、と持っているんですよ。大事な部分だから。</p>
④	<p>こういう機会のときに、いまの⑦さんの発言は、こういう人たちを捨てちゃうということになってしまう発言にも繋がっちゃうので、私はこういう取り組みをしている技術者として気を付けた方が良いと思うんです。</p> <p>今回取り組もうとしているのは「参加したいと思う人たち全員に開く」と、先ほどから再三申し上げていること、この貴重な機会なんですよ。だからこういう提案があるならば、それを実現できる工夫を企画するのが、私たちの果たす役割じゃないでしょうか。</p>
⑩	<p>ちょっと違和感があるんですが。</p> <p>限られた時間のなかで意見交換会をやるわけですよ。そうするとその話題について優先順位や重み付けをしたほうが。「重み付けをしちゃいけない」という風に、④さんのいまの意見は聞こえちゃうんですが。</p>
④	<p>修正していいですか。修正なのかどうか、同じことしか言わないんだけど。重み付けという意思是全くなくて、参加される人に対して同じチャンスを開いてあげるという意味で申し上げたつもりです。</p>
⑨	<p>私もそれについては同じ意見なんですけれども、先ほど言ったようにあくまでも修正案についての、これは仙台堀川公園の整備計画についての意見交換会なので。先ほど言った前段に、「一から計画を見直して行って欲しいということでございますが、先ほど申しましたとおり、今回の修正案についてはすでに色んな検討を重ねて作り上げてきたものですので、今後あくまでもこの修正案…」</p>
④	<p>いま何を読んでいるのですか。</p>

⑨	建設委員会の課長の答弁です。「なのであくまでも一から見直すのではなくて、修正案を」ということで答えられているんですよね。
④	これはいつの、何月ですか。
⑨	6月の建設委員会です。
④	これはこれとして過去の事実として、記録に残っている事実としてあるんですよね。私たちはこれからどうしようか、ということをやっているんでしょう。何を言いたいかといえ、ば、「私たちが行使できるチャンスをどこまでこじ開けられるか」ということが、私たちができることじゃないですか。先ほど言って下さった「あの人たちは後ろを向いている」と言い方をしたけれど、私たちは前を向こうとしている中で「再考を促す」ということをどれだけできるのかというチャンスを握っていて、それを捨てることはないでしょう。ご発言をどうぞ。
⑰	まず⑨さんがそういう、課長がそういう答弁をされた。その後実は最初の議論の時には、「公園の部分だけを議論の対象にします」という説明だったんですね。「それはおかしいでしょう」ということで、全体の議論になった。ただしそういう答弁が、区議会の答弁、公園のなかだけでやろうとしていた事実もある。そうするとここで議論されていること、あるいは提言書として出されていることに対して、前の発言なり経緯はフラット、全然なしにして本当にゼロなのか、それは実は生きていて取りあえず意見を聞こうとしているのか。というのが、これは僕の言葉なんですけれども、基本的に区に対する不信感というか、そういうものが根底にあるんですよ。それをどういう形で払拭しながら話を進めていきましようか、ということにならないと建設的な話にはならないと思うんです。それで私はメールで何回も書いているように、冒頭で区役所の責任ある立場の人からきちんと発言して下さい、と。回答なりこの話をどういう風に向けて、抑制として次のステップに行くかという話をきちんとしてくれないと、なかなかかみ合う部分がきつと、意見交換会の場自体も成果に積みあがる場にならないんじゃないか、という気がしています。 それから意見交換会の説明は、やはり3月の修正案があつてそれに対する色々な意見があつたり、前回の意見交換会の意見があるわけですよね。それで当然その第2回の意見交換会のときに計画について説明がされると思うんですけれども、それは第1回の意見交換会を踏まえたうえの説明になっていないとおかしいんだと思うんです。だからそれは「区民の方が仰ることが良く分かるからそういう方向で訂正します」でも良いし、「区民の方が仰っていることは聞いたんだけど実はこうで、区民の方にちゃんと伝わってないことがきつとあるからそれを丁寧に説明する」でも、それはどちらでも。それは行政が決めれば良いことですから。
④	一つ例を言ってもらっても良いですか。
⑰	例ですか。
④	具体的にどういう話題、例えばどういうことをいまおっしゃっているのか。
⑰	例えば道路構造令みたいな話ですよね。一方通行の話なんかは素人考えで言うと「何で一方通行にしないの」という。「一方通行にすれば直ぐ解決しちゃうんじゃないか」と僕も当初思っていたし、それはそういう風に普通の方は思うんです。ただそれは一方通行にするということはそれほど単純でもないし、こういうこともあるし、一方通行にしたといつてもすれ違いの幅を確保するとそんなには道は狭まらない。という説明はきちんとされるべ

	きだと思ふ。ただしそれにしたって、それに対する疑問も追加してあると思うんですけれどね。
④	この前⑰さんにメールを発信してもらって、「冒頭において、今度は行政の方の話がスタートのところであった方が良い」というご発言を頂きました。それには色々な意味が重なっているんだろうと私は受け取ったんですが、一つは、こうやって皆さんが自分たちのまちを良くしようと思つての会合なんだから、こういう企画をやつた思いも込めて行政の方からスタートしてもらつた方が良いだろうと、心と心を合わせるといふ意味において行政の人が出た方が良いだろう、という受け止めにさせてもらっていました。もう一つは踏み込んで「行政の意志としてどういふ風にするのか」みたいなどころに入つていつた時には、逆に出口がなくなる心配があると思つていたんですよ。この前の開催に際して、感情的にとつても失望して怒りを持っている人たちがたくさんいた、といふことは肌で感じましたけれども、そことのやり取りといふのは変な話、どれだけの論理的な話で時間が切れるかといふのはおっかなかつたんですね。そこらへんについての意見は何かありませんか。
⑰	「出口が見えなくなつた」といふのは…。
④	無くなる心配といふのを感じませんか、といふ意味です。
⑰	それは仰つている意味が。要は混乱して收拾がつかなくなつちゃうといふ意味ですか。
④	「自分の思いを貫きたい」と思ふ人たちが複数いらつしゃるといふことですね。皆んなで協議するといふ場を大切にしようといふ思いの人もたくさんいるんだけど、「俺は俺の思つていることを言いたいんだ」といふ人が何人かいらつしゃる。そのやり取りで混乱にならないか、といふ。今日⑰さんに会つたら聞きたかつたことです。
⑱	可能性はあると思ふね。
⑧	ただ、敵じゃないですよ。
④	もちろん、そんなことは言つていません。
⑧	敵じゃないですよ。あの人たちは自分たちが享受していた公園の豊かさが、公園幅が縮まることによつて失われることの危機感を持ってあそこに参加しているわけですから。
④	私はそういうことも言つていない。私がいま申し上げているのはそういうことではなくて、気持ちといふことだけ申し上げたい。それを聞きたかつた。それが「心配ない」といふのであれば仕切りとして、最初に行政の方にスピーチしてもらつて始めるといふのは悪いことではないんじゃないか、とも思つています。
⑧	ただ説明したところであつた気がするんだけど。意見交換会の前の説明会、去年の説明会と全く同じ様なことになる可能性があると思つていて、この間の⑳さんの説明では、こういうスタンスで、こういうプロセスで道路設計しましたと。道路構造令の3級道路の、実際は3級道路なんだけれども4級道路の設計にして、一部3級道路の設計が入つているわけですよ。
⑳	いえ、入つていないです。
⑧	結局4級道路で説明しました。その説明をされたところで、実際に「公園幅を縮めない」といふやり取りが区の中でやられていなかつたり、それに対して現在の問題解決のためにどうしても公園幅を縮小することが必要だといふ風なことの説得材料として何かしらの意見が出て来なければやはりダメ、ダメといふか区民は同じようなことの話になってしまう。その2つがなければ。だからプロセスがないといふことが一番最初にも、この間も提案に

	書きましたけれども、『みどりの基本計画』において、「公園整備のときには区民意見をきちんと取り入れます」という約束事と、「みどりを減らさない」というようなマスタープランも一緒に書いてある。そういったことに対しての、区民が受け取っていることに対して違うことをやっているということが実際にあるので、僕はその旗印を降ろさざるを得ないと思っていますよ。
④	はい、ありがとうございました。 ⑦さんも先ほど重要話題があるんだ、ということについては道路と公園の取り合い。⑩さんは電線の対応の仕方。重要話題があるんだ、というので公園削減はなしでしょう。この3つのそれぞれ事業に関わる重要話題は確かにありますね。そこまでは全員の前で何かしらのやり取りをして、結論は出ないですよ、きっと。納得もしきれないでしょう。「ゼロが良いんだ」という人もいれば「逆に増やせ」という人もいるかもしれない。様々な見解があるという両論併記だと思いますけど、ただそこに対して情報は出さなくちゃいけない、出せる情報は出てきているでしょう、という時間。それは冒頭に持った上で、それからブースに分かれてグループに分かれて、という展開にするという組み立ては、今の話だと、ありえないでしょうか。 冒頭は⑩さんがメールでも下さった「行政からこの企画をこういう意図で開催しています」ということを言って頂くと。
⑦	ブースというのは3つですか。
④	いや、これは分かりません。何かしらの意見をやり取り、もっと細やかにしたい感情があるでしょう。また別の話をしたいという人もいるでしょう。でも全体として重要話題だとずっと出てきている話題、これは皆んなの前で明確にしたほうが良いでしょう。 言って下さったこれね。これについてはもっと早く皆んなと共有してもらいたかったんだけど、これについては現場で何かしらの共有でき得る工夫をするということも皆さんに伺いたいんだけど、これは私たちだけが知っている具合じゃまずいじゃない。これは前回ご提供頂きました、修正案の詳述内容ですね。こういう事柄、これがどういう内容でしたかという説明については、説明会ではこんなに内容のある説明は受けていないでしょう。修正案はこういう内容だった、これは修正案の話なんだけどね。⑨さんの建設委員会の議事録というものとリンクさせながら考えると、またつまらない時間になっちゃう可能性があると思われるかもしれないが、これについては私たちが共有しているんだから、皆さんも共有できるような状況をもって、これは手短かにね。この時にはどんな考え方だったのかという重要話題については、そこで返事をもらう。考え方について開示してもらう。これはブースに分かれる前に全員でやる。何がしかのこういう機会であるが故に、もっと幅広い意見を言いたい方もいらっしゃるでしょうから、そういう人たちの意見を頂けるような機会も何かしら工夫していく。こういう方法、これはいかがでしょうか。
⑦	それがこの前A班で、プログラムの構成、話題の設定が一つの答えで、一案ですがね。ブースに分かれるのは全体ではなかなか言いにくいからということで、ブースごとにテーマを決めるのではなくて、話題案として「なぜ公園を削るのか」「どのような公園が良いのか」というCのような話、自転車通行の在り方など、意見をいくつか集めるとこういうようなことがあるんですけども、「自由に言って下さい」と。ですからテーマごとのブースではなくて、いわゆる公園整備計画並びに公園そのものについて議論をしましょうと。

	それを各ブースで少人数でやったほうが話しやすいですよ。そこでやったものをまとめて、全体で発表する。全体発表は要約でしかありませんから、各ブースのグループディスカッションで出た意見というのは、いわゆる提言書を作成する際のひとつの意見として、我々幹事会として受け止める。そういうのはこの提案なんですよ。
④	前の発表の内容をもう1回言ってくれた感じですか。
⑦	そう。
④	それはもうみんな分かっていると思うんです。それを分かっているという形を出して来てくれた。前の提案について理解が浅かったんですけども、そういうやり方をした時の決定的ウィークポイントは、「一体その時間に私の話ができるのか」ということが、行く前には分からない。行ってから「終わっちゃったの」「まだこれから」みたいな形になる。もう一つのウィークポイントは、グループごとに分かれるということはバラバラの意見が出てくるわけですけども、全員でそれに耳を傾けられるという要約をする時間が極めて取りづらい。これは全体の会議の仕方の問題でしかないんですけども。
⑦	そう、会議の仕方。
④	発言はするんだけど、「人の意見に耳を傾ける」という、そういう実現が難しいということ。
⑦	最初の点はなんですか。
④	最初の点は、さてそこで複数の8テーマがどこでも話されています、という状況が、この前のグループ提案だったでしょう。「自分が一番話題にしたいのは7番目なんだ」というときに、そこを話しただけでまだそこまで至っていないという状況で、果たしていつできるのか。先行して話している人の流れに寄り添いながら「まだだな」という、そういう状況になってしまう。その不合理さはあるということですね。それは集团的会議の仕方のなかでのやり方の話でしかないんですけども。
⑦	それはどの班単位でも同じですよ。
④	ですからそのやり方の工夫として、「ここの暖簾はおでんだよ」「ここの暖簾は焼き鳥だよ」みたいに明確にしておく、「その話がしたかった」という人がウロウロできる。
⑩	例えば「私はママを担当します」とか、そういうのでも…。
④	そういうのでもいいです。確かにそれもありますね。
⑩	けっこう過激な方たちが意見をたくさん言われると、場違いだと思って帰りたくなっちゃうかもしれない。特にお子さんを連れて来ちゃったり小学生がいたら、雰囲気呑まれて「残念でした」ということになり兼ねないので、それだったらそういう方たちは私のところに、というところで話ができるかなと思うので、そんな工夫もあるかなと思います。
④	今の話に共通しているのは、この機会に参加された人が発言する機会と別の人の意見を聞く機会、これを上手に確保したいという意味ですよ。
⑮	質問します。この中に「公園をそのままの広さで活用していった方が良い」という人が何人いるか。
④	たくさんいますよ。
⑮	私は80~90%だと思う。この間の意見交換会だって話を聞くと結局、木を切らないで緑と、夏は涼しい風が通る。そういう意見が通るということは「狭くしないでくれ」という意味なんだよね。聞いたときは大体90%くらいは「公園は狭くしないでくれ」。何故かと、僕

	<p>も後から皆さんと一緒に道路を見ましたよね、車の。車を通る人というのはある一部の方なんですよね、車に乗っている人というのは。通るだけだから。ところが公園というのはそこに楽しみにくるものだから。結局皆さんが反対するのは、「公園を狭くするから嫌だ」という意味なんですよね。私も最初は役所の言う通り、「道路がきれいになればいいな」と思うけど、行ってみたら道路はそれほど広くならないで、そのところに車道ができて歩道ができるとか聞いたもんだから。歩道ができると今度はマンションから出るところでも自転車でいちいち止まらなくちゃいけないとか、色々今度は道がいっぱい…。いまのところだったらずっとまっすぐ自転車は公園を走っていつちやうから止まらずに行けるわけですよ。ところが今度そっちの方でやると、道路から出てくる、下から入ってくる道があるから、そこでいちいち自転車だったら一時停止しなくちゃいけないとか、仮にね。そうするとなかなかね。だから何でこの間の意見交換会のときに「何で木を切る」のとか、盆踊りするところとか、狭くなると盆踊りもできなくなる。狭くなればなるほど、ピッチャーがボール投げをするのにも狭くなってくる。何だかんだで一応少しずつ狭くなっちゃうと思うんだよね。だからこの中で、今までの道路計画は後でもできるんですけど、公園を1回潰しちゃうと、無くしちゃうと拡げるわけにもいなくなるから、それはね。いつでもできる範囲で。</p> <p>それから子どもが遊ぶ器具でも何でも置いてくれというけど、ああいうものは絶対壊れるんですよね。芝生か何かバーツと…。この中であの公園を小さくして道路を整備したほうが良いという人、ちょっと多数決で聞いたほうが良い。</p>
④	<p>いやいや、それをするまでもなくこのデータから分かっています。これの左側が1104から抽出された現況に関するもの、こちらがこの前の意見交換会、緑色が「いいね」というやつですね。ここがすごい多いでしょう、ここも多いでしょう。これは水とみどりのところなんです。このヒストグラムがちょっと似ている感じで、やはり水とみどりが大切という人が、参加した人、あるいは意見を言ってくれた人には多かったです。これは聞くまでもない事実ですね。</p> <p>それでここの話ですけれども、「みどりと道路」「防災と何とか」ということの対立概念が敷地のなかでどう処理したら良いか、ということもあるが故に、こういうことになっているわけです。ですからこれは大変良くできていると僕は思っているんですけど、そういうような話の根底にあるところの話題については、きちんと1回、現在の段階での説明を行政の方に冒頭でして貰う。それについては、まだまだこれからもこの意見交換会②において頂いた意見をもって、再修正案のときには「そうではなくてこれが大切でしょう」みたいなことについての表現をして頂ける機会をきちんと今回作ってあげましょう、と。これを私たちがチャレンジするという理解でよろしいでしょうか。</p>
⑰	<p>もう少し具体的に。</p>
④	<p>最初に全体での会であいさつが必要だという話があったでしょう。それから説明が必要だと言っていないでしたか。重要話題に関わる、現段階における説明がないだろうと言われたいですむ、「これについてはこういう背景条件が故に、こういう修正案のときには考え方を取っていました」という。これは過去の話ですけれどね。そのとき何の物差しでこうしていたのかということについての説明は、やはり明確にしなければならぬでしょうというような話がずっと出ていたかと思ったんです。</p>

⑧	それは過去の話として説明するわけですか。
④	修正案としての話ですね。「私たちは再修正案に向かっている」ということを明確に、次に繋げないと。延々とぐるぐるやっているでしょう。
⑧	この間もその話なんですよ。⑦さんが説明してくれた時に、再修正案は再設計するんだけど、「現時点での整備案は生きていますか」という質問に対して答えていない。答えていない、というか答えられるわけがないんですけれども。それで①さんの方から「生きている」という話がしたときに、集中的にその話なる。実際には「そういった説明をした」「その整備案は生きているのか、どうなのか」という話がまた出てきますよ。
④	そうすると一番最初にこの取り組みは一体何なのか、と。⑩さんは「まやかしだ」と言われるけど、そうではなくて「こういうフレームなんだ」ということを、この挨拶の人が言ってくれないと、「そんなこと言ったってこうだろう」という話になっていっちゃうよね。
⑧	じゃあこの意見交換会って何だ、という話になる。意見交換会で「何やってたの」という話になる。
④	だから、現在のはどう。フレームというのを最初に明確に示して頂かないと…。
⑧	そのフレームは一体何ですか、という話になる。どこを意見交換会の落としどころというか…。
④	それはもう再三やった。これだ、と思って整理してきて皆さんに話題にしているつもりだ。
⑧	「大切にしたいこと」とか、そこらへんの話ですよ。
④	いやいや、最終的には提言書なんでしょう。我々とする目指しているのは。その提言書を守れよ、と再修正案の人に渡すわけでしょう。そうじゃなかったの。これまでの幹事会でのやり取りはそうだと思っていた。
⑧	僕は提言書のある程度の姿を示さないと落ち着かないですよ、という話をしたわけです。
⑩	具体的には公園を狭めるな、という…。
⑧	「公園を縮めない」という風なことのスタンスを幹事会のなかで話せるでしょう、と。
⑩	電線地中化は危険。本当に危険だから。
④	言葉が不適格かもしれないけれども、違う考えの人もいるんですよ。だからその考えがあることは明確に示すべきだと思いますよ。だけど一案に絞れないでしょう。私たちはみんなが議論できる機会を提供する…。
⑧	1000対1でも同じような意見ですか。1000の意見が「公園を現状維持してくれ」という意見があって、1は「公園を縮めるんだ」という意見があったとしてもその意見はきちんと拾って、実際にはそれはがっちゃんこするという必要があるということですか。拾う、拾うと、色んな意見、多様な意見があると仰っていましたがけれども、どういう風な結論として持って行こうとされていますか。多様な意見の拾い方って。実際には④さんが示してくれたヒストグラムを描けば、圧倒的に「公園の面積を縮めるな」という意味ですよ。
④	あるところでは多数決の原理を導入で、あるときには少数意見を拾わなくちゃいけないと、両方やらなくちゃいけないわけだよね、私たちは。
⑧	拾うこと自体は悪くない。拾うことに反対しているわけじゃない。
④	だから大切なことを言う機会には私たちにももちろん、他の人たちにもあるわけじゃないですか。
⑧	それを反対していないですよ。

④	だからそれを表現すれば良いというのがこの組み立てです。「大切にしていきたいこと」として「公園を削るな」というような類の表現があっても、最もいいんじゃないですか。それだけに絞られた、というのは間違いでしょう。
⑧	公園を維持すると、現状からいまの問題点を解決するような新しい整備案だと私は言っているわけです。私はね。その中に「公園を縮める」という意見が放り込まれたって良いんです。新しい整備案のなかに色んな意見が入ってくるから。もう1回、今ある整備案に関しては、これだけのプロセスの問題点や意見があった。色んな意見を言ってくれる公園の利用者の意見があるわけだから、実際には現在の整備案に関しては一旦白紙に戻した上で、いま現状の問題点から新しい整備案を作りましょう。だからそのときのための意見を頂けませんか、と。グループB、グループCの意見を踏まえたうえでそこに放り込みますよ、と言えば良い話です。
⑪	素晴らしい案が今までできたということですよ。最初からそれっぽいなだけど。とにかく工事をするため、工事をする方向にしか聞こえないんだよね。最初は意見を聞くとおいて、全然聞かない。要点をまとめない。今回も「江東区はこうやるよ」ということばかりを考えている。そういう風にしか見えない。
①	考えていないから、いまのところは対案は出していない。それに対してここの修正案、参考資料として作ってくれたことに対して、皆さんの意見を含めて大事なところを拾っていきたくて思っています。
⑪	だけどこの③が○、②が○だなんて、そんな最悪なことはないんだからね。
⑳	今までずっと聞かせて頂いていたんですが、皆さん求められていることは何なんですかね。「説明をしろ」ということで資料を出して、説明しても皆さんたぶん納得されないんですよ。納得されないことをまた新たに説明して意見交換になるんですか。やはり納得いかない人に対して納得いかないことを言うだけなんじゃないですか。
⑦	だから僕はここで行政がどういう答えをするのか、いくつかの大きな疑問を。僕は⑧さんと違うのは、この幹事会で提言書、例えば「削減しない」とかの結論をもって、我々の一つの大きな点について「幹事会ではこうだ」というのは、僕は出せない。それは賛成できない。なぜかという、これだけ今まで意見があって第2回の意見交換会で、行政が区民の疑問に答えるわけですよ、意見に。その意見を踏まえた上で、例えばその意見交換会の場で答えます。僕らも聞いてない答えだからね。そうしたら「なるほどな」と区民の方たちが納得するか・しないか、ありますよね。それから幹事として初めて聞く区の答えに対して納得するか・しないか。それを踏まえて幹事会として提言書をまとめると。ひょっとしたら、今までの僕の情報では公園を削っても良いと思わないんだけど、区の説明を聞いたら「なるほど、しょうがないんだ」と思うかもしれない。「やはりダメだ。何かあるだろう、ほかの方法が」「全然真剣に検討していないじゃないか」ということかもしれない。それはやはり僕は第2回の意見交換会の区の説明を聞いたうえで、僕個人として判断したいし、幹事としてもね。今日この場で判断なんてとてもじゃないけど私はできない、というのが僕の考え。そこがちょっと違うんですけどね。でも同じところは、いくつか区民の人の関心事は決まっているから、もう集約されているから、それに対して区がきちんと答えると。冒頭、どこかの早い段階でね。それが大事なんじゃないの、という点は同じだと思うんですけどね。



④	<p>私たちは、幹事会として意見交換会を企画し運営するという形ですけれども、もうちょっと平らに、簡単に言ってしまうと、「皆んなで考えることの機会をどの様に企画して作っていい」と、そういうために私たちは骨を折っていると思うんですね。そうすると私たちは皆んなで考える機会を得るためには、まだ駒が足りない、情報が分からない、と。もともと修正案が何なのかよく分からない。何でそういう様な物差しを当てたのか、何の物差しを当てたか分からない。これは提供するというのが一義でしょう、私たちがやらなきゃいけない。それぞれの参加された人が納得するかしらないかについては、申し訳ないけど私たちは関与できない。だけど私たちが関与しなくちゃいけないのは、複数の人たちが「考える」という状況になるための手伝い。それを乱す人がいれば、「皆んなの時間を壊すな」と言って制御する役割、これは私たちがやらなくちゃいけない。その様な理解で今度の冒頭において、大きな疑問を生じていた「修正案とは一体どういう奥深さだったのか」ということの説明を簡便にさせていただき、この中で重要な論点になっている「3つの事業」と書きましたが、それぞれの事業ごとに「どういう物差しを当てたからこうなのか」ということについては情報提供をしてもらって、それぞれの人が考えるという状況にスイッチしてあげる。こういう取り組みであれば、皆さんがいまお話頂いていたことが形としてできるかな、という気がしますがいかがでしょうか。</p>
⑨	<p>そもそもそうでした。第1回目からそういう流れで、㊟さんが言うことがもつともで、こういう資料を色々作られてきて、前々回から作られてきたのは㊟さん位のもので、「まだ出せない」と言っている場合もあるし。こういうのを聞くと「一通は難しいんだ」というのも分かるし、植栽帯は維持管理費もかかるし私は未だに無駄だな、と思うけど、歩道についてはこの前も目の前で車いすの方が上へ散歩に行かれるのを見ました。やはり電信柱は邪魔だと思いますし、そういうのも含めて話す時間がもうちょっと欲しいから、例えば2年くらい修正案、整備計画を伸ばすということはあると思うけれども、とりあえず「こういうことを考えていまのこういう計画ができたんだよ」ということを今まで2年間説明してこなかったことがそもそもの原因なので、「これこれこういう範囲ですよ」というのを、いま説明を聞いても私も分からないし、前回の④さんも「分かりづらい」と言っていましたけれども。あれを見ても一般の方は分からないし、その説明をしているとそれだけで終わっちゃうので、それをいかに見やすくして共通の認識として判断材料にするか。それでも「削るな」という人もいるし、やはり明日車いすになるかも分からないですから、やはりそうした方が良くという判断をするための資料作りが私は幹事会だと思って、それを持って意見交換会をするんだと思っていたんですけれども。ただいまここに資料がないということは、それを分かりやすく整理している時間もないですから。結果的に、最終的に現実的な意見としては先ほどの提言書、「こんな感じのものを作りますよ」という大まかなところで、「幹事会としてはこういう判断をします」みたいなものを出すしかないかな、と私は思っているんですけれども。</p>
④	<p>今このたたき台を作っていた意味が生まれつつあるのかな、と思うんだけど。これはこれとしてやりましたよ。これはこれでどういう構造か皆さんもご理解いただけたと、私は満足しています。これにプラスアルファ重要な論点があるならば、ということで必要な資料をそれぞれわかりやすく作ろうじゃないか、ということであれば作りますよ。いま⑨さんは「それは難しいから」と言ったけど、そんなことない。やる必要があり価値があるなら</p>

	やりますよ。
⑨	例えば道路のことで私は前も言いましたけど、現況道路は道路構造令とは関係ないので、関係ないというかいているので、「道路構造令に基づいてこうしなきゃいけない」という言い方は、そう書いてしまうと「そうなんだな」と思っちゃうし。それは並行して「現況道路についてはそうではない」ということも書かなきゃいけないし。後は…
④	ちょっと待って。今の件だけ良いか。いまのやつもこの物差しを行政は当てたわけですよ。その時はそうしたんだ、ということ…
⑨	それをそのまま説明すると何も知らない方は「法令の基準に沿わなきゃいけないな」と思うけど、「現況道路なんだから、それはいま使っているままでも良いんですよ」と。
④	というのを一緒に表現する資料が重要だってことを言っているんでしょう。僕もそう思っています。
⑨	そういう判断もあるということ。後はそうはあっても、ここに、この（４）のところですか。同じ事柄を違う意見ですよ。これについてはやはり、これも物差しというか客観的な資料があって「じゃあどうするの」と、いうのが、設計者でも区でも判断しにくいことだとは思っているので。これについては区民同士が話したほうが結論が出やすい。ただそういう時間が、そういう意味であるかどうかというのはあれですけど、「こういう課題があるよ」という意味では出して、それに判断材料となる資料を付けるのが。それで次回の意見交換会ができれば一番良いですけども。
④	そうすると、「一番良いですけど」というやつを実現するために我々がやれば良いんだ。「そんなの難しいから」と言っちゃったらその瞬間、その夢は言っただけで何もならないんだから。これはこの前皆さんがこぞって言ったから僕はやったわけですよ。皆さんが「必要だ」と言うならば僕はできるだけのことをしますし、やってくれる人にもSOSを出します。そういう価値のあることをやりたいのかどうか、だけ。やったほうが良いと思えばそれをやるっていうために努力するのが、幹事会がやる立場じゃないですか。
⑨	私はやりたいし、逆に時間があればこういうものを作ってこようと思いました。前に提案しようと思いました。それで先ほど⑧さんが言ったように、はじめに経緯について、前回仙堀の経緯、こういう形で9/8付けで仙台堀川公園整備についての経緯が配られましたけど、これは事実だけですよね。これが配られて、ただ⑧さんがおっしゃったように『みどりの基本計画』には「住民と一緒に作るように」ということがここに書かれています。で、それどおりに作っていない。だからここについては、いま計画が作られたけど『みどりの基本計画』に則っていないのもう一度、例えば一からやり直す必要があるとか、という意見もあるとか、そういうことを盛り込んでそれを提案してどう判断するか、というのは区とかによるんでしょうけれども。そういうものは用意できれば一番良いと思う。
⑪	個人的には逆の意見、悪いけど。一般人が、新聞も読まないような人が、こんな何十ページのものを読むわけがない。それを考えたらこの中で徹底的に煮詰めて、「本当に良いものはこれですよ」というものを本来時間をかけてやるべきなので。それを「市民の意見を聞くだけをどうするか」「交通整理をどうするか」ばかりやっているからこうなっている。とにかくここで本気で考えて、本当に将来の江東区民のために、本当に素晴らしい江東区を作るためにどうするかを、本当にやらないとどうしようもない。だから少しでも、誰でも読んで分かるような、せいぜい3～4ページぐらいのものでなければ、一般、江東区民に

	は説明会としては扱えないよ。
④	⑩さんの発言は重要で、これができあがった時に多くの人が共有するための作業、これはもう1回必要ですよ。このままをポンと出すわけにはいかない。それはそう思います。それはやはりそのステージで、「これだけの情報は入れたい」という思いを持って編集という話になるんじゃないでしょうか。
⑪	だから最低限この幹事会をあと半年伸ばして、意見をちゃんとまとめるべきだよ。それをやらなかったら意味がない。
⑬	それは幹事会じゃないですね。違う組織です。
⑪	幹事会じゃなくてもいいけど、そこまでやらなければこの意味がまったくなくなっちゃう。
④	まず私たちが立っているステージを、私たちがひっくり返しちゃダメだと思います。これは了解して皆んな参加しているんだから。それで私たちは10月までという任期のなかで参加していて、でも⑩さんの仰る気持ちは良く分かったところで、「皆んなで取り組み方をどうしましょう」ということについて、表現するところを作っているわけじゃないですか。そこで表現しましょうよ。いま全部をぶち壊す話をしちゃダメです。やはり私たちが立っているところに応じて、入れ込んでいけるところは入れ込んでいきましょう。
⑰	先ほどの⑳さんの発言に区民として。 確かに道路構造令の話をして、区民はなかなか理解できない。それでそれに対して、現況で「じゃあどういう風にすれば交通の問題を解決しながら、道路の幅を狭められるか」というアイデアなり…。
⑳	それを含めて言っているんですけど、この意見交換会の場というのは、我々の意見を述べる場所ではないですよ。あくまで事実として説明するので、今までやってきたことを説明させていただきます。今までやってきたことは納得されないのです、そこから先というのは、私ども区役所側が「こうします」と言えないわけですよ。
⑰	では逆に言うと、例えばそれに対して私は道路の素人だけど疑問として、一通はどうなんですか。歩道と植樹帯3m取っている計画だけど、ちょっと区道のあれを見ているんですけど一番狭いところは歩道に見えたんですね。「そういう形のプランで法律的に問題があるのか」というのと、「それであそこの交通の障害が解決できるのか」ということが分からないんですけど。そういうその、区民として「こういうアイデアがあるんじゃないですか」と、行政の方は言えないのかもしれないけれど、そういうアイデアを出して、それに対して行政の方が「それは法律的に無理だ」というのだったら意見交換会のネタとしては出せないんだけど、「すごく難しいかもしれないけど可能性はあるよ」というのであればそれはネタとして出して、それに対して皆さんの意見はどういう風な意見があるか、という話をすれば良いんじゃないかな、と思う。
④	いま⑰さんと同じような何か別のAならば、またB、Cを持っていらっしゃる区民がいらっしゃる可能性はあるじゃないですか。そういう方々がいま発言頂いたようなことを発言できる機会をここで設ける。⑰さんが確認して「これならいけそう」という話だけをここでするんじゃなくて、⑰さんとはまた別の方がここで発言できる機会をここで設けていく。そういう機会として向きやすいですよ。
⑰	ただアイデアとして出さないと、そういう意見も出にくいだろうとは思う。
④	こういう意見交換会をやると具体的に踏み込んだ、リアルなイメージを言ってくれる人

	もいるじゃないですか。そのほうが分かりやすいもんね。だからそれは意見交換会のブースというのか、グループというのか分からないけれども、話題が交換しやすい状況をセットしてあげてそこで展開していく。そういう方法が私も良いとは思ってますね。
⑦	ということはそういう意見、質問が出なければ、幹事の我々でも質問して良いということですね。
④	そう思いますよね。私はそう思うんだけど、どう思っていますか。
⑦	僕はそう思っていないんで、ここでいくつか質問してその答えを。いくつか似たような質問をしましたよね。「こんな質問もありますんで答えて下さい」と。それはあそこの場に出なかったとしても、「一通の場合は、ここはこうです」「植樹帯は、こうなんです」という答えを説明の中でして頂ければ良いな、と思っているんですけど。
④	<p>こんな整理をしたらいかがでしょうか。私たちは違う立場で集まっていますでしょう。この多様性というのはやはり幹事であっても保持していて良いんじゃないでしょうか。私たちは同質の、同じ見解を持たなくちゃいけないということは全くないと思うんですよ。それが異質である、多様であるからこそこの幹事会が健全だと思うんですね。</p> <p>「説明をしなくちゃいけない」という強迫観念を私たちは持たなくて、その達者な人にそれを振れば良いんじゃないでしょうか。また十分な答えが得られなければ、「これはこれから十分な答えを探す必要がある」という記述を明確に残すということなんじゃないでしょうか。先ほどの⑦さんの話も、ここの『4 計画判断(再整理)』というなかでまだ不足の部分があれば、そこに書き込んでいくということなんじゃないでしょうか。そういう意味でそれぞれの人が思っているものを表現できるというチャンスを、今回行政は取ってくれました、という大変な言い方だけど、設けています。ですからこのチャンスに「私たちが社会性を持って発言していく」、という工夫をどれだけできるかが、私たちの勝負。勝負所はそこにあるんじゃないでしょうか。</p> <p>さて、申し訳ありません、今日も。でも大変密度の高い議論ができたと思います。</p> <p>⑥さんどうぞ。</p>
⑥	<p>今日で5回、こういう状況なのかなと思っていたので、会議室を来週押さえています。この場で日程を申し上げますので、調整させて頂きたいと思っています。</p> <p>今日が9/20水曜日です。1週間後、27日水曜日。</p>
⑧	④さんがダメだって。
⑥	それでは10月2日、3日。月曜日、火曜日です。
※日程確認の話/2:33:50~2:34:10	
⑥	<p>それでは10月2日、3日で決を採りたいと思います。</p> <p>まずは2日がダメな方。時間は同じで19時からです。4人ですね。</p> <p>では3日、同じく19時からですがどうでしょうか。5人になりました。</p> <p>数の結果では10月2日・月曜日の19時からで。</p>
④	<p>2日がダメだという方、ちょっと何か工夫でヘルプできるというか、アクセスして頂けるための工夫を何かできないですか。</p> <p>今日だいぶご発言頂いた⑦さんはダメなんでしょう。</p>
※日程確認の話/2:35:20~2:36:40	
⑥	10月2日月曜日19時から、会場は文化センター6階の第4会議室で、隣になりますけれど

	も。また臨時会という形で開かせて頂こうと思っております。よろしくお願いいたします。
④	第5回プラスということですね。 順番にどうぞ。
⑮	砂町地区大会の委員をやっていますから、ちょっと終わってから行けるか。7日も13時から連合町会の会合なんですよ。いつも8日なんですけど7日が連合町会の会合なんです。やはりちょっと。明日は交通巡回で警察官と一緒に回らなくちゃいけないとか、色々用事がちょっとあって、10月は案外ね。明日から交通安全週間なんだよね。色々と野暮用がありまして。私はいなくても良いでしょう。
④	改めて、ダメな方の名前を聞いても良いですか。10月2日にダメな方、どういうフォローをするか意見を頂きたいので、工夫する相手を明確にして下さい。 各人におかれましても工夫のほど、よろしくお願い致します。
⑥	私の方から1点お願いがございます。 ⑦さんと⑫さん、この前回ご提示させて頂いた資料をよくご覧になって頂いて、23ページに、例えば区がこういう風に考えて、物差しで作りました、と。⑦さんからメールで「この物差しのここがまだ分からないので教えて頂きたい」という疑問を投げかけて頂いて。すみません、今日はその回答はないですが。その疑問というのありがたい疑問でして、ここの部分が分からないから、3月の説明会でも第1回意見交換会でも紛糾したというのは、たぶん大きな部分だと思います。恐縮なお願いですけど、この資料を一度読んで頂いて、23ページにまた「この物差し」というのが具体的に書いてあります。「この物差しというのが分からない、こういうのがないのか」「ここの部分をもう少し詳しく教えてくれ」というのを頂きたいと思います。区としては結局同じ説明になってしまいかねないというのは、当然我々も思っております。「この角度でやってもらいたい」というのがあれば、逆に頂きたい。 ⑫さんについては、その資料に色々書き込んで頂いていると思います。そういったものを、例えばお貸し頂いて「ここが分からない」とか、メモがあったら教えて頂きたい。というのを、私どもではちょっと、⑮さんからのお話にもあったようにこっちから説明するんだけど、「こういう尺度があるんじゃない」という会話、想像力が広がるということもあると思いますので、そういった部分をメールで、ファックスでも結構ですので教えていただけたらと思います。
⑦	23日の意見というのは、1104プラス…。
⑥	プラスではないです。4月の、28年4月にやった説明会を経て修正案を作りました。修正案を作ったときの尺度です。
④	そんなことを言っちゃうとなんですけど、その前の、そこで書いてあるときの整理については、あまり活性化され難い整理だったと思います。言い方が悪いけど。それではダメだと言って、もう1回洗い直しているの…。
①	すみません、22時完全退館なので。
④	①さん、全体進行をお願いします。
①	本日も遅くまで、ありがとうございました。具体的な日程調整、10月2日ということを軸で調整させて頂きます。また詳細についてはメールさせて頂きます。よろしくお願いいたします。

	最後に河川公園課長、大野からひとこと。
大野	すみません、時間がないので。話したいことはたくさんあったんですけども。皆さん色々な方と議論したいと思っておりまして。でも時間がないので。言いたいことは、皆さん貴重な時間、遅くまで、何回にも渡ってこうやって議論されていること、本当に感謝します。皆さんが仙台堀川公園及び側道、それを良くしていきたいと思っている方たちだと私は思っていますので、今後ともよろしくお願いします。
①	今日はどうもありがとうございました。

－以上－